

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B101	単位数	2単位
担当者(所属)	日田 剛(福・福)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>激動する社会の中で生き抜くためには、自らを社会に開く必要がある。それは社会において何が求められているのかを知ること同時に、仕事を取り巻く環境の理解が欠かせない。そのために学生には早期に将来の自分像を描き、大学で何を学び、学生生活をいかに送るかを考えることが求められる。</p> <p>本科目は、自らのキャリア形成にどのような知識、技術が必要なのか、また仕事をやりがいのあるものとするために何が必要かを学ぶ。加えて健康で働き続けるために必要な労働者を守る権利、それらを具体化した法制度についても理解することを目的とする。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1)科目のねらい、意義が理解できる。 2)現在の社会情勢を身近な問題から、広い視点での問題まで理解できる。 3)「社会人基礎力」が求められる意図を理解する。 4)自分自身を知ること、目指すべき将来像を考えることができる。 5)経済の仕組みについて基本的な理解を進める。 6)社会に潜在している問題を把握することができる。 7)仕事について、その意義を考える。 8)働くうえで必要な社会保障や労働基準法について理解を深める。 9)仕事をめぐる社会情勢について理解する。 10)キャリア教育の視点から労働者の権利について考える。 11)自らのキャリア形成について具体的にイメージする。</p>				
実務経験のある教員による教育	外部講師として福祉現場で働く卒業生等を招く予定である。				
評価方法	定期的なレポートと最終確認レポート、授業態度や提出物で総合的に評価。レポート10点×5回(50点)、提出物(20点)、最終確認レポート(30点)として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	授業内で行ったSGDについて振り返りを行うこと。授業中に配布した資料は保管しておくこと。外部講師に失礼な態度をとらないこと。				
オフィスアワー	平日13時～17時				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	この科目を学習する目的を考える。	講義	日田	
2	2)	自分を取り巻く社会環境を理解する。	講義	日田	
3	3)	社会人基礎力がどのように構成されているのか具体的に把握する。	講義	日田	
4	3)	社会人基礎力について、それがなぜ必要なかを客観的に理解する。	講義・演習	日田	
5	4)	自己理解、他者理解について学ぶ。	講義・演習	日田	
6	5)	社会問題について自らの生活に当てはめて議論する。	講義・SGD	日田	
7	5) 6)	仕事するうえで必要な環境について考える。	講義・演習	日田・外部講師	
8	7)	仕事について歴史的に概観し、なぜ仕事が必要なかを考える。	講義・演習	日田	
9	8)	仕事をめぐってどのような社会問題が発生しているのかを理解する。	演習	日田・外部講師	
10	9)	仕事を行う上で、障壁となる問題について考える。	講義・演習	日田	
11	9)	仕事上、障壁となる社会問題をどう対処する必要があるかを考える。	講義・演習	日田	
12	10)	卒業生等の話から、仕事をするにあたり自らに必要な知識を考える。	講義・演習	日田	
13	11)	これまでの学びから自分のキャリア形成について考える。	講義・SGD	日田	
14	11)	自らのキャリアデザインを視覚化する。	講義・演習	日田	
15	11)	自らのキャリアデザインについてグループ内で発表する。	講義・演習	日田	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
使用しない。					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
使用しない					

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B601	単位数	2単位
担当者(所属)	横山 裕 (心・心)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士または公認心理師」になるために(DP1,2,4)、社会人としての基礎を身につけながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身につけることにある(CP1,2)。				
到達目標(SBOs)	1) 自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。 2) 自分と社会との接点に気付く。 3) 言語聴覚士及び公認心理師の仕事の社会的側面について知る。 4) 自己キャリアデザインに必要なスキルについて知る。 5) 人生100年時代を生きる意味と社会構造の変化へ対応する意味を理解する。				
実務経験のある教員による教育	キャリアカウンセラーとして5年以上の実務経験を有する。				
評価方法	授業毎の小テストやレポート課題により形式的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業の参加態度など)の評価を50%、学期末の総括レポートを50%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	医療や福祉のみならず、政治・経済など各自のキャリアデザインに関する最新の動向について関心を持つように心がけること。また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが人生100年時代の新しい生き方を身につけるために重要である。				
オフィスアワー	教員のオフィスアワーに準ずる。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1),2)	キャリアとは何か理解する。	講義	横山
2	1),2)	キャリア教育の意味について考える。	講義・SGD	横山
3	1),2)	自己のキャリアを考える視点を理解する。	講義	横山
4	1),2)	自己のキャリアを形成する方法について学ぶ。	講義	横山
5	3)	キャリアデザインにおける資格について考える。	講義	横山
6	1),2),3)	自己のキャリアプランを立ててみる。	講義	横山
7	1),2),3)	他者のキャリアを理解する。	講義・SGD	横山
8	3),4)	医療、保健領域を取り巻く状況を理解する。	講義	横山
9	3),4)	人生100年時代を取り巻く社会状況を理解する。	講義	横山
10	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(1)社会構造	講義	横山
11	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(2)産業構造	講義	横山
12	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(3)経済社会	講義	横山
13	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(4)個性と多様性	講義	横山
14	1)~5)	人生100年時代に必要なキャリアを理解する。	講義・SGD	横山
15	1)~5)	総括	講義	横山

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

特にありませんが、教員より参考書等文献の指示があります。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

教員の指示に従ってください。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B501	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生・医)	時間数	30	AL科目	『O』
配当学科(学年)	生命医科学科(2年)	必修・選択	重要な科目になります。必ず履修して下さい(選択必修)。		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	中央教育審議会(中教審)の答申を基盤に、大学教育の中で知識や技能を実につけ、自己の個性を理解し、将来社会に貢献できる有望な人材として成長するための基礎的な能力を養うことを目的とする。以下の6つのテーマについて、スモールグループディスカッション(SGD)及びアクティブラーニング(AL)型で授業を進める。(1)「はたらく」意味を考える。(2)「キャリア」について考える。(3)「自分の轍」を考える。(4)「社会が求めていること」を考える。(5)「未来のはたらきかた」を考える。(6)「職業」を考える。				
到達目標(SBOs)	1)「はたらく」意味を理解できる。 2)「キャリア」について理解できる。 3)「自分の轍」を理解できる。 4)「社会が求めていること」を理解できる。 5)「未来のはたらきかた」を理解できる。 6)「希望」について理解できる。 7)「職業」を理解できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者の池脇信直は臨床現場(大学病院等)での10年以上の実務経験に基づき、中教審が掲げるキャリア教育に関する最新の資料とデータを提供しながら授業を行う。				
評価方法	毎回の授業終了後に理解度テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD及びAL型授業において、学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	授業は主に「キャリア教育」に関わる課題を提供すると共に、その課題をSGD及びAL型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。				
オフィスアワー	毎週月曜日～金曜日：12:20～13:00				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	「はたらく」意味を考える①	講義・SGD	池脇
2	1)	「はたらく」意味を考える②	講義・SGD	池脇
3	2)	「キャリア」について考える①	講義・SGD	池脇
4	2)	「キャリア」について考える②	講義・SGD	池脇
5	3)	「自分の轍(わだち)」を考える①	講義・SGD	池脇
6	3)	「自分の轍(わだち)」を考える②	講義・SGD	池脇
7	4)	「社会が求めていること」を考える①	講義・SGD	池脇
8	4)	「社会が求めていること」を考える②	講義・SGD	池脇
9	5)	「未来のはたらきかた」を考える①	講義・SGD	池脇
10	5)	「未来のはたらきかた」を考える②	講義・SGD	池脇
11	6)	「希望」について考える①	講義・SGD	池脇
12	6)	「希望」について考える②	講義・SGD	池脇
13	7)	「職業」を考える① 適職と天職	講義・SGD	池脇
14	1)~7)	「職業」を考える② 臨床検査技師・臨床工学技士・細胞検査士の仕事を知る	講義・SGD	池脇
15	1)~7)	「職業」を考える③ 生命医科学研究者の仕事を知る	講義・SGD	池脇

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

使用しません。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

資料(プリント)を配付します。
参考書と参考文献を紹介します。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B302	単位数	2単位
担当者(所属)	明石敏(薬・生)、片本宏(薬・生)、紺野克彦(薬・生)、松葉隆司(薬・生)、橋本美穂(薬・生)、山内利秋(薬・生) 正木美佳(薬・生)、宮内 亜宜(薬・生)、萩尾光美(外部講師)	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	概要：教員並びに外部講師のキャリアから、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考えることができる。 一般目標：各教員並びに外部講師のキャリアを学び、自分の人生に目標・目的をもち、自分の人生をどう送りたいのか、を計画的に準備する意義を認識することができる。				
到達目標(SBOs)	1)キャリアに関し話すことができる。 2)教員及び外部講師から情報収集の方法を知り、参考にできる。 3)教員及び外部講師の経験や専門知識を知り、将来予想している自分のキャリアを比較し、今の自分に何が必要かを考えることができる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者は各領域における実務担当者であり、それぞれの実務経験(キャリア)から、学生自身の将来のキャリア(ライフプラン)を認識・学修を目的とした授業を行う。				
評価方法	15回目に各教員及び外部講師のキャリアについての「まとめ」を報告していただきます。その報告内容(成果)(60%)と授業態度(40%)を総合的に評価する。 評価の基準は授業開始日に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	各教員及び外部講師のキャリア、専門用語などをノートに記録すること。専門用語などは、学習内容のまとめを作成して復習すること。				
オフィスアワー	オムニバス授業のため各教員による掲示に従うこと。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)2)3)	【教員のキャリア①】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石	
2	1)2)3)	【外部講師のキャリア②】外部講師(東九州動物医療センター 萩尾光美院長のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	外部講師 萩尾光美	
3	1)2)3)	【教員のキャリア③】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本	
4	1)2)3)	【教員のキャリア④】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本	
5	1)2)3)	【教員のキャリア⑤】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野	
6	1)2)3)	【教員のキャリア⑥】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野	
7	1)2)3)	【教員のキャリア⑦】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉	
8	1)2)3)	【教員のキャリア⑧】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉	
9	1)2)3)	【教員のキャリア⑨】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本	
10	1)2)3)	【教員のキャリア⑩】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本	
11	1)2)3)	【教員のキャリア⑪】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内	
12	1)2)3)	【教員のキャリア⑫】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内	
13	1)2)3)	【教員のキャリア⑬】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	正木	
14	1)2)3)	【教員のキャリア⑭】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	宮内	
15	1)2)3)	【教員のキャリア⑮】各担当教員のキャリアの「まとめ」について報告する。「まとめ」から自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					

使用しません。

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

各教員が指示します。

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B301	単位数	2単位
担当者(所属)	鈴木 彰人(薬・薬)、日高 宗明(薬・薬)、鳥取部 直子(薬・薬)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・見学		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>キャリア教育は、自分に適性のある職業を選択して社会で活躍できる薬剤師になるために、薬剤師の職能に対する正しい知識を修得することをおもな目的とする。</p> <p>自分の将来目標を設定し、それを達成するには、早期に薬学出身者の職場業務を見聞体験して、広い視野から専門職業人として医療・社会における役割と使命を理解することが重要である。特に、患者・生活者本位の立場に立ち、医療人として果たすべき役割を身近に感じ取り、学習に対するモチベーションを高めることは意義深い。本授業では薬剤師が従事している医療機関・施設、行政機関、試験・研究機関、医薬品関係企業などの見聞体験を通して、共感的な態度、能動的な学習態度および専門職としての道徳と倫理観を身に付けることも目的としている。</p>				
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 社会に出て働くことの意義を説明できる。 2) 薬剤師の活動分野について概説できる。 3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。 4) 医薬品の情報管理における薬剤師の役割について概説できる。 5) 疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。 6) 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。 7) 医療の担い手にふさわしい態度を示す。 8) 「キャリア」および「キャリアデザイン」の重要性について概説できる。 9) 自分の長所・適正に鑑みて、自分に向いていると思う職業を、理由を付けて論述できる。 10) 社会人としての挨拶、礼儀作法を実践できる。 11) 医療人としての接遇、マナーや言葉づかいの重要性を感じる。 12) シミュレーションによる電話応対を体験し、自己紹介や情報伝達・確認を実践できる。 13) 薬学出身者の業務を見聞し、その役割について説明できる。 14) 薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その役割について説明できる。 15) 自分が目標とする薬剤師像を掲げ、それに近づくために実践すべきことを具体的に述べるができる。 16) 多様な集団、組織の中でコミュニケーションを築くことの重要性を感じる。 <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：A 基本事項 (1) ①-6, ②-1, 2, 3, 6, (3) ①-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, (4)-3, 5, B 薬学と社会 (4) ①-1, 2, 3, 4, ②-2, 3, F 薬学臨床 (1) ①-2</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>科目担当者(鈴木、日高)は、大学病院での5年以上の実務経験に基づいて、患者・生活者本位の視点に立つ医療人としての役割の理解を促し、薬学生としての自覚や学習に対する意欲を高め、医療の専門家として相応しい態度の醸成を図る。</p> <p>※外部講師として、臨床現場で活躍している方を招く予定。</p>				
評価方法	<p>以下の [1]、[2] を点数化して、合計点で単位認定を行う。</p> <p>[1] 第1回～7回授業：課題レポート(45点) + 態度(5点) で評価する。</p> <p>[2] 第8回～15回授業：外部講師による講義及び施設見学後のレポート(30点) + 態度(20点) で評価する。</p> <p>態度・・・授業への積極的な態度(質疑応答・発表時、挙手による発言や質問など)。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業における講義・演習は医療施設等を見学するための事前学習であるので、授業すべてに出席することを単位修得の要件とする。 ・施設の見学は夏休みの指定された日時に行う。 ・見学施設で迷惑行為が生じた場合、単位修得ができないことがある。 ・施設見学の際、他人に不快感を与えるような身だしなみや態度は厳禁である。 ・レポート提出は課題ごとに締切日および提出方法(パソコンで電子ファイルを送信・提出することもある)を指示する。 <p>授業前の準備と授業後のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を必ず読んでおくこと(第2～7回授業：レポート作成に必須である)。 ・施設見学を行う前準備として、インターネットを利用して各施設のHPで施設の特徴や概要を調べること。 ・授業前後、週末および長期休暇期間の計15時間を使い、課題レポートの作成、討議・発表に向けての調査や資料の作成を行うこと。 				
オフィスアワー	<p>(鈴木)月・金曜日 16:00～18:00 研究室：M410 (日高)月・金曜日 16:00～18:00 研究室：M412 (鳥取部)月・金曜日 9:00～12:00 研究室：M504</p>				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	講義概要説明 仕事とは？働くとは？なぜ働くのですか？	講義	鳥取部・鈴木	
2	16)	コミュニケーションとは何だろう？自分のコミュニケーション能力について	講義・演習	鳥取部・外部講師	
3	7)16)	医療人としてのコミュニケーションとは？	講義・演習	鳥取部・外部講師	
4	2)3)5)7)13)	調剤薬局薬剤師の業務とは？	講義	鳥取部・外部講師	

5	2)3)4)7)13)	病院薬剤師の業務とは？	講義	鳥取部・外部講師
6	1)2)6)8)9)15)	自分のキャリアをどう考えるか。	講義	鳥取部・外部講師
7	1)2)6)8)9)15)	自分のキャリアをどう考えるか（前半まとめ）	講義	鳥取部
8	1)2)3)4)5)6)10)	早期体験学習ガイダンス・学習の心構え 見学施設紹介及び見学施設の振り分けの説明	講義	鈴木・日高
9	13)15)	職場での実体験を聞いて感じる	講義・演習	鈴木・日高・外部講師
10	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、挨拶や電話対応の重要性を感じ取ろう(1)	講義・演習	鈴木・日高・外部講師
11	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、挨拶や電話対応の重要性を感じ取ろう(2)	講義・演習	鈴木・日高・外部講師
12	10)11)12)	医療施設の見学・体験時のマナー	講義	鈴木・日高
13	13)14)15)16)	病院・保険薬局見学	体験・見学	鈴木・日高
14	13)14)15)16)	病院・保険薬局見学	体験・見学	鈴木・日高
15	13)14)15)16)	保健所・薬品工場・医薬品卸見学	体験・見学	鈴木・日高
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック ver.2（西鶴智香 著） 薬事日報社 【978-4-8408-1407-2】				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しません。				

科目名	コミュニケーション論	授業コード	110007B501	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇香織(非常勤講師)	時間数	30	AL科目	『O』
配当学科(学年)	生命医学科(1年)	必修・選択	選択必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	ヘルスコミュニケーションは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーションである。情報が受け手に分かりやすく正確に伝えられ、結果として健康行動や医療行動の改革につながることを基本概念としている。また、食品の安全と衛生管理、特にHACCP(ハサップ)に基づく食中毒予防対策などのリスクコミュニケーションも重要なコミュニケーションである。さらに、近年ではキャリア支援やキャリア教育のための効果的な情報をお互いに伝え、受け取る、双方向のコミュニケーションの重要性も高まっている。一方、茶道は日本人ならではの細やかな気遣いや相手を思いやる非言語的コミュニケーションである。すなわち、茶の湯におけるコミュニケーションを学ぶことで、心が通じるコミュニケーション能力、豊かなコミュニケーション能力を修得することができる。日本の伝統文化としての茶の湯は、優れたコミュニケーション育成機能を備えたシステムである。授業では、ヘルスコミュニケーション、リスクコミュニケーション、キャリア支援コミュニケーション、茶の湯のコミュニケーションについて学習するとともに、課題に対するグループディスカッション&レポート・メールの書き方を通してコミュニケーション論の概念を習得する。				
到達目標(SBOs)	1)医療・公衆衛生におけるヘルスコミュニケーションを理解できる。 2)食の安全や衛生管理におけるリスクコミュニケーションを理解できる。 3)医療従事者におけるコミュニケーションを理解できる。 4)茶の湯を通しての心豊かな非言語的コミュニケーションを理解できる。 5)課題に対するグループディスカッション&レポート・メールの書き方を通してコミュニケーション論の概念を理解できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者の池脇香織は臨床検査技師として臨床現場(大学病院・医学部教室・健康開発事業団等)で10年以上の実務経験も持ち、本科目ではヘルス&リスクコミュニケーションを中心に授業を行う。また、茶道家(表千家系)でもあり、茶の湯を通しての心豊かな非言語的コミュニケーションの実践型授業を行い、コミュニケーション論の概念ならびに課題に対するレポートやメールの書き方についても教授する。				
評価方法	学習への取り組み姿勢(課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を20%、学期末の定期試験を80%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	授業は主にプロジェクターで講義内容および説明図を提示し、そのポイントを解説する形で進める。また、茶道のお点前を取り入れた実践型授業&アクティブラーニング(AL)を行う。講義後は配付プリント等を用い、学習内容を復習するとともに、レポートを作成すること。配付プリントは必ずファイルしておくこと。疑問点等があれば、担当教員に質問し積極的に学ぶことが大切である。				
オフィスアワー	講義前後の時間				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)2)3)4)5)	オリエンテーション コミュニケーション論を学ぶことの意義 茶道とコミュニケーション レポートとメールの書き方	講義・演習・SGD	池脇
2	1)4)5)	公衆衛生学におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇
3	1)4)5)	公衆衛生学におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・SGD	池脇
4	1)4)5)	母子保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇
5	1)4)5)	母子保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・SGD	池脇
6	1)4)5)	産業保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇
7	1)4)5)	産業保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・SGD	池脇
8	1)4)5)	高齢者保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇
9	1)4)5)	高齢者保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・SGD	池脇
10	1)4)5)	精神保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇
11	1)4)5)	精神保健におけるヘルスコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・SGD	池脇

		レポートの書き方		
12	2)4)5)	食品に関するリスクコミュニケーション 茶道とコミュニケーション	講義・演習・ SGD	池脇
13	2)4)5)	食品に関するリスクコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・ SGD	池脇
14	3)4)5)	医療従事者としてのコミュニケーション 茶道とコミュニケーション レポートの書き方	講義・演習・ SGD	池脇
15	1)2)3)4)5)	まとめ	講義・演習・ SGD	池脇
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しません。				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
講義資料を配付します。 参考書と参考文献を紹介します。				

科目名	コミュニケーション論	授業コード	110007B601	単位数	2単位
担当者(所属)	倉澤 美智子(臨・臨)、倉内 紀子(臨・臨)、戸高 翼(臨・臨)、中村 真理子(臨・臨)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期	授業形態	演習・講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	コミュニケーション論では、専門職としての豊かな人間性と倫理観を身につけ、社会や他者のために責任ある行動をとるために、必要なツールであるコミュニケーション能力の向上を目指すことは大切である。本講義では、様々な課題を抱えた人々や、地域、協働する各機関や多職種等とのコミュニケーション方法や適切な対応についての習得を目的とする。(DP1,2)				
到達目標(SBOs)	1)コミュニケーションとは何かを理解し、説明できる。 2)基本的なマナーや言葉遣いについて理解し、説明できる。 3)相手の立場に立った見方など多角的な視野に沿ったコミュニケーションについて理解し、説明できる。 4)あらゆる障害で生じるコミュニケーション障害について理解し、説明できる。 5)コミュニケーションの種類について理解し、説明できる。 6)社会活動の中で必要とされるコミュニケーション能力について理解し、説明できる。 7)あらゆる場面を想定したコミュニケーション活動を体験し、理解し、説明できる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当者(倉澤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての15年以上の実務経験に基づき、あらゆる患者とのコミュニケーション経験を活かし、その方法や対応について講義を行う。また、日常的に用いられるコミュニケーション活動において必要とされる知識や理解を深めるため外部講師を招き、コミュニケーションを通した人材育成に努める。				
評価方法	学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加を40%、及び学期末の単位認定試験成績やレポートを60%として総合的に評価を行う。				
準備学習・履修上の注意等	原則として、講義内容についてレポート提出等を行うので準備をしておいてください。				
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	コミュニケーションとは何か	講義	倉澤
2	1)2)	相互理解(言葉遣い、マナーについて考える) 自己紹介など①	講義・演習	倉澤
3	3)4)5)	相互理解(言葉遣い、マナーについて考える) 自己紹介など②	講義・演習	倉内
4	3)4)5)	相互理解(言葉遣い、マナーについて考える) 自己紹介など③	講義・演習	戸高
5	3)4)5)	コミュニケーション障害:難聴	講義・演習	倉内
6	3)4)5)	コミュニケーション障害:構音障害	講義・演習	中村
7	3)4)5)	コミュニケーション障害:失語症	講義・演習	倉澤
8	3)4)5)	コミュニケーション障害:高次脳機能障害	講義・演習	倉澤
9	3)4)5)	コミュニケーション障害:認知症	講義・演習	中村
10	3)4)5)	コミュニケーション障害:言語発達障害	講義・演習	戸高
11	6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施①(基本的な話し方マナー)	講義・演習	外部講師
12	6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施②(基本的な話し方マナー)	講義・演習	外部講師
13	6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施③(失語症者支援演習)	講義・演習	外部講師
14	6)7)	コミュニケーションの種類・方法・実施④(失語症者支援演習)	講義・演習	外部講師
15	6)7)	まとめ(研修会:11/26)	講義・演習	倉澤・倉内・戸高

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

やさしいコミュニケーション障害学—基礎からわかる言語聴覚療法の実践— 八王子言語聴覚士ネットワーク(編集)三輪書店【ISBN-13 978-4895905572】

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

使用しない。

科目名	コミュニケーション論	授業コード	110007B301	単位数	2単位
担当者(所属)	高村 徳人 (薬・薬)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・SGD・プレゼンテーション		
授業の概要・一般目標(GIO)	薬剤師としての倫理観を獲得するための人権・尊厳・法令を配慮・遵守して行動する能力や、患者を中心としたチーム医療へ参画するための共感のコミュニケーション能力を修得する。 コミュニケーション論では、医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基礎知識、技能、態度を修得する。				
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーションの基本を説明できる。 2) 他人の意見や考えに共感できる。 3) ガンなどの難治患者の気持ちに配慮すべき事項を列举し、適切な対処法を説明できる。 4) 心の病気を列举し、その病気の特徴を説明できる。 5) 心の病気に対する適切な対処法を説明できる。 6) 薬剤師が行うべき薬学的医療貢献を列举しそれについて説明できる。 7) 薬剤師技術を向上のための道具を創造し説明できる。 <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：A-(1)-②薬剤師が果たすべき役割-1～3、A-(3)-①コミュニケーション-1～9</p>				
実務経験のある教員による教育	様々な病気の患者への薬剤管理指導業務の際のコミュニケーション実践経験を活かし授業やSGDなどを展開していく。				
評価方法	毎時間学生に質問することにより学習成果のフィードバックを行う。客観評価(80%)、レポート(10%)およびプレゼンテーション(10%)として、単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	1回の授業につき1時間程度を目安に予習と復習を行うこと。予習は授業中に次回までに取り組み課題を提示する。講義の内容を理解するために、授業中は集中して聴き、ノートもしっかり取ること。さらに、ホームワークで講義のポイントを再確認すること。講義中の私語、遅刻は厳禁。				
オフィスアワー	月曜～金曜日17:00～18:00 (M-422)				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(1)	講義・SGD	高村
2	1) 2)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(2)	講義・SGD	高村
3	1) 2)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(3)	講義・SGD	高村
4	1) 2)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(4)	講義・SGD	高村
5	1) 2)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(5)	講義・SGD	高村
6	2) 3)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(1)	講義・SGD	高村
7	2) 3)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(2)	講義・SGD	高村
8	2) 4) 5)	心の病気とその対応について考えてみよう(1)	講義・SGD	高村
9	2) 4) 5)	心の病気とその対応について考えてみよう(2)	講義・SGD	高村
10	2) 4) 5)	心の病気とその対応について考えてみよう(3)	講義・SGD	高村
11	2) 4) 5)	心の病気とその対応について考えてみよう(4)	講義・SGD	高村
12	2) 6)	薬剤師の薬学的医療貢献と方法を考えてみよう(1)	講義・SGD	高村
13	2) 6)	薬剤師の薬学的医療貢献と方法を考えてみよう(2)	講義・SGD	高村
14	2) 7)	薬剤師技術向上のための道具について考えてみよう(1)	講義・SGD・プレゼンテーション	高村
15	2) 7)	薬剤師技術向上のための道具について考えてみよう(2)	講義・SGD・プレゼンテーション	高村

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

がんばろう薬剤師－薬剤師の医療貢献の道を探る－(高村徳人) 講談社【978-4-06-156304-9】
配付プリント

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

使用しない。

科目名	英語	授業コード	110026B101	単位数	2単位
担当者(所属)	上田 留理 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking by comprehending English materials regarding to various subjects. Students will be expected to be involved actively in all class activities and tasks.				
到達目標(SBOs)	1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English. 2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices. 3) Students will be able to improve English communication skill through class activities. 4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices. 5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.				
実務経験のある教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and a translator. The instructor was also educated and trained to teach active learning based on the CALA method which had been created for students of ESL.				
評価方法	Total evaluation on class attitude (40%), reports (30%), and a comprehensive examination (30%).				
準備学習・履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English materials to prepare for the classes.				
オフィスアワー	After classes				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1) 2)3)4)	Introduction of the Class	講義・演習	上田
2	3)5)	Intercultural Communication (Group Activity)	講義・演習	上田
3	1) 2) 3) 4)	Cell Phone - Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time to Use	講義・演習	上田
4	1) 2) 3) 4)	Cell Phone - Mobile Phone Addict & Reduce Amount Time of Use	講義・演習	上田
5	1) 2) 3) 5)	Process of Learning English (Practical Activity)	講義・演習	上田
6	1) 2) 3) 5)	Process of Learning English (Practical Activity)	講義・演習	上田
7	1) 2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life	講義・演習	上田
8	1) 2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life	講義・演習	上田
9	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material	講義・演習	上田
10	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material	講義・演習	上田
11	1) 2) 3) 4) 5)	Discussion regarding the contents on the DVD Material	講義・演習	上田
12	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personals in Clinical Psychology Fields	講義・演習	上田
13	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personals in Clinical Psychology Fields	講義・演習	上田
14	1)2)3)4) 5)	Open Subject related to Clinical Psychology (the subject chosen by students and necessary materials prepared by the instructor)	講義・演習	上田
15	1) 2) 3) 4) 5)	Review for the course	講義・演習	上田

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	英語	授業コード	110026B601	単位数	2単位
担当者(所属)	上田 留理 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking by comprehending English materials regarding to various subjects. Students will be expected to be involved actively in all class activities and tasks.				
到達目標(SBOs)	1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English. 2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices. 3) Students will be able to improve English communication skill through class activities. 4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices. 5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.				
実務経験のある教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and a translator. The instructor was also educated and trained to teach active learning based on the CALA method which had been created for students of ESL.				
評価方法	Total evaluation on class attitude (40%), reports (30%), and a comprehensive examination (30%).				
準備学習・履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English materials to prepare for the classes.				
オフィスアワー	After classes				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1) 2)3)4)	Introduction of the Class	講義・演習	上田
2	3)5)	Intercultural Communication (Group Activity)	講義・演習	上田
3	1) 2) 3) 4)	Cell Phone - Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time to Use	講義・演習	上田
4	1) 2) 3) 4)	Cell Phone - Mobile Phone Addict & Reduce Amount Time of Use	講義・演習	上田
5	1) 2) 3) 5)	Process of Learning English (Practical Activity)	講義・演習	上田
6	1) 2) 3) 5)	Process of Learning English (Practical Activity)	講義・演習	上田
7	1) 2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life	講義・演習	上田
8	1) 2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life	講義・演習	上田
9	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material	講義・演習	上田
10	3) 4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material	講義・演習	上田
11	1) 2) 3) 4) 5)	Discussion regarding the contents on the DVD Material	講義・演習	上田
12	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personels in Clinical Psychology Fields	講義・演習	上田
13	2) 3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personels in Clinical Psychology Fields	講義・演習	上田
14	1)2)3)4) 5)	Open Subject related to Clinical Psychology (the subject chosen by students and necessary materials prepared by the instructor)	講義・演習	上田
15	1) 2) 3) 4) 5)	Review for the course	講義・演習	上田

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	英語	授業コード	110026B303	単位数	2単位
担当者(所属)	ポウラー プレン	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate				
到達目標(SBOs)	1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions				
実務経験のある教員による教育	私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格TESOLを取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立のALT講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。				
評価方法	1. Attitude, contribution and participation in class discussions (10%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (50%, Mid term 20%, Final 30%) 3. 2 Mini presentations In each half of the term (20% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total)				
準備学習・履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間以上を目安に予習・復習を行うこと				
オフィスアワー	授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1-3)	Unit 1 Introductions and Orientation	講義	ブレン
2	1-3)	Unit 1 Introductions ~Unit 2 Work and Family	講義	ブレン
3	1-3)	Unit 2 Work and Family Mini Quiz 1	講義	ブレン
4	1-3)	Presentation 1	講義	ブレン
5	1-3)	Unit 3 Holidays	講義	ブレン
6	1-3)	Unit 3 Holidays, revision of covered content to date.	講義	ブレン
7	1-3)	Midterm Test	講義	ブレン
8	1-3)	Unit 4 House and Home	講義	ブレン
9	1-3)	Unit 4 House and Home ~Unit 5 About You	講義	ブレン
10	1-3)	Unit 5 About You Mini Quiz 2	講義	ブレン
11	1-3)	Presentation 2	講義	ブレン
12	1-3)	Unit 6 Life Lessons	講義	ブレン
13	1-3)	Unit 7 Remember When...	講義	ブレン
14	1-3)	Unit 7 Remember When...	講義	ブレン
15	1-3)	Revision of prior units	講義	ブレン

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

Headway 5th Edition Student Book with Online Practice
ISBN: 9780194524230

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

Headway 5th Edition Workbook with Key
ISBN: 9780194527682

科目名	英語	授業コード	110026B301	単位数	2単位
担当者(所属)	橋本 亜衣子	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義, 演習, SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	本授業は、英語のリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングに関する基礎的能力の向上を目標とする。本授業は、薬学教育モデル・コアカリキュラムの薬学準備教育ガイドライン(3)に対応する。				
到達目標(SBOs)	1) 英語のリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングに関する基本的知識と技能を習得する 2) 英語を用いたコミュニケーションにおいて、会話の基本となる表現やフレーズを習得する 3) 英語の語彙を増やす				
実務経験のある教員による教育	担当者は医療機関での実務経験、国外での実務研修経験、留学経験等に基づき、薬学分野および卒業後の実務に応用可能な講義を展開する。				
評価方法	小テスト(20%)、授業への取り組み姿勢・オンライン学習システムでの自習状況(20%)、学期末テスト(60%)により評価。				
準備学習・履修上の注意等	・オンライン学習システム、音声ファイル等を活用し、予習・復習を行うこと ・授業に積極的に参加すること				
オフィスアワー	月・水・金曜 8:15-8:45 臨床薬学第一講座(4号棟4階)及び授業前後に講義室において実施。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)2)3)	オリエンテーション	講義, 演習, SGD	橋本
2	1)2)3)	UNIT01 Restaurants	講義, 演習, SGD	橋本
3	1)2)3)	UNIT02 Offices	講義, 演習, SGD	橋本
4	1)2)3)	UNIT03 Daily Life	講義, 演習, SGD	橋本
5	1)2)3)	UNIT04 Personnel	講義, 演習, SGD	橋本
6	1)2)3)	UNIT05 Shopping	講義, 演習, SGD	橋本
7	1)2)3)	UNIT06 Finances	講義, 演習, SGD	橋本
8	1)2)3)	UNIT07 Transportation	講義, 演習, SGD	橋本
9	1)2)3)	UNIT08 Technology	講義, 演習, SGD	橋本
10	1)2)3)	UNIT09 Health	講義, 演習, SGD	橋本
11	1)2)3)	UNIT10 Travel	講義, 演習, SGD	橋本
12	1)2)3)	UNIT11 Business	講義, 演習, SGD	橋本
13	1)2)3)	UNIT12 Entertainment	講義, 演習, SGD	橋本
14	1)2)3)	UNIT13 Education	講義, 演習, SGD	橋本
15	1)2)3)	UNIT14 Housing	講義, 演習, SGD	橋本

教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】

A COMMUNICATIVE APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST Book1: Elementary, 成美堂. 【ISBN978-4-7919-7252-4】

参考書(著者名) 出版社名 【ISBN】

特に指定しない。

科目名	英語	授業コード	110026B102	単位数	2単位
担当者(所属)	ポウラー プレン	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate				
到達目標(SBOs)	1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions				
実務経験のある教員による教育	私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格TESOLを取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立のALT講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。				
評価方法	1. Attitude, contribution and participation in class discussions (10%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (50%, Mid term 20%, Final 30%) 3. 2 Mini presentations In each half of the term (20% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total)				
準備学習・履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間以上を目安に予習・復習を行うこと				
オフィスアワー	授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1-3)	Unit 1 Introductions and Orientation	講義	ブレン
2	1-3)	Unit 1 Introductions ~Unit 2 Work and Family	講義	ブレン
3	1-3)	Unit 2 Work and Family Mini Quiz 1	講義	ブレン
4	1-3)	Presentation 1	講義	ブレン
5	1-3)	Unit 3 Holidays	講義	ブレン
6	1-3)	Unit 3 Holidays, revision of covered content to date.	講義	ブレン
7	1-3)	Midterm Test	講義	ブレン
8	1-3)	Unit 4 House and Home	講義	ブレン
9	1-3)	Unit 4 House and Home ~Unit 5 About You	講義	ブレン
10	1-3)	Unit 5 About You Mini Quiz 2	講義	ブレン
11	1-3)	Presentation 2	講義	ブレン
12	1-3)	Unit 6 Life Lessons	講義	ブレン
13	1-3)	Unit 7 Remember When...	講義	ブレン
14	1-3)	Unit 7 Remember When...	講義	ブレン
15	1-3)	Revision of prior units	講義	ブレン

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

Headway 5th Edition Student Book with Online Practice
ISBN: 9780194524230

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

Headway 5th Edition Workbook with Key
ISBN: 9780194527682

科目名	英語コミュニケーション		授業コード	110031B101	単位数	2単位
担当者(所属)	上田 留理 (非常勤講師)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科2年		必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期		授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences and information regarding to various fields.					
到達目標(SBOs)	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Students will improve their five English skills such as listening, speaking, reading, writing and thinking.					
実務経験のある教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method which had been created for ESL students.					
評価方法	Total evaluation on class attitude, reports, and a comprehensive examination.					
準備学習・履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prepare for the classes					
オフィスアワー	After classes.					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1-3)	Introduction of the Class	講義・演習	上田		
2	1-3)	How to write logical reports in English	講義・演習	上田		
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)	講義・演習	上田		
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and visual material as an example.	講義・演習	上田		
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)	講義・演習	上田		
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①	講義・演習	上田		
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②	講義・演習	上田		
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①	講義・演習	上田		
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②	講義・演習	上田		
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class	講義・演習	上田		
11	1-3)	Learning about English activities for different age groups	講義・演習	上田		
12	1-3)	Making English activities for different age groups ①	講義・演習	上田		
13	1-3)	Making English activities for different age groups ②	講義・演習	上田		
14	1-3)	Presenting English activities created by students	講義・演習	上田		
15	1-3)	Review for the course	講義・演習	上田		
教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】						
使用しない						
参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】						
使用しない						

科目名	英語コミュニケーション		授業コード	110031B601	単位数	2単位
担当者(所属)	上田 留理 (非常勤講師)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床心理学科1・2年		必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期		授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences and information regarding to various fields.					
到達目標(SBOs)	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Students will improve their five English skills such as listening, speaking, reading, writing and thinking.					
実務経験のある教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method which had been created for ESL students.					
評価方法	Total evaluation on class attitude, reports, and a comprehensive examination.					
準備学習・履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prepare for the classes					
オフィスアワー	After classes.					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1-3)	Introduction of the Class	講義・演習	上田		
2	1-3)	How to write logical reports in English	講義・演習	上田		
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)	講義・演習	上田		
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and visual material as an example.	講義・演習	上田		
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)	講義・演習	上田		
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①	講義・演習	上田		
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②	講義・演習	上田		
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①	講義・演習	上田		
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②	講義・演習	上田		
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class	講義・演習	上田		
11	1-3)	Learning about English activities for different age groups	講義・演習	上田		
12	1-3)	Making English activities for different age groups ①	講義・演習	上田		
13	1-3)	Making English activities for different age groups ②	講義・演習	上田		
14	1-3)	Presenting English activities created by students	講義・演習	上田		
15	1-3)	Review for the course	講義・演習	上田		
教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】						
使用しない						
参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】						
使用しない						

科目名	英語コミュニケーション	授業コード	110031B303	単位数	2単位
担当者(所属)	ポウラー プレン	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate				
到達目標(SBOs)	1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions				
実務経験のある教員による教育	私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格TESOLを取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立のALT講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。				
評価方法	1. Attitude, contribution and participation in class discussions (5%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (50%, Mid term 20%, Final 25%) 3. 3 Mini presentations over course of the term (30% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total)				
準備学習・履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間以上を目安に予習・復習を行うこと				
オフィスアワー	授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1-3)	Unit 1 Introductions and Orientation	講義	プレ
2	1-3)	Revision of Units 1 ~ 6 Explanation of expectations for term 2	講義	プレ
3	1-3)	Unit 8 Love it or Hate it Mini Quiz 1	講義	プレ
4	1-3)	Presentation 1	講義	プレ
5	1-3)	Unit 9 In The City	講義	プレ
6	1-3)	Unit 9 In The City, revision of content covered so far	講義	プレ
7	1-3)	Midterm Test	講義	プレ
8	1-3)	Unit 10 What Are You Doing?	講義	プレ
9	1-3)	Unit 10 What are you doing? ~ Unit 11 Going for it	講義	プレ
10	1-3)	Unit 11 Going For It Mini Quiz 2	講義	プレ
11	1-3)	Presentation 2	講義	プレ
12	1-3)	Unit 12 Have you ever	講義	プレ
13	1-3)	Unit 12 Have you ever?	講義	プレ
14	1-3)	Presentation 3 Preparation, revision of Units 7~12	講義	プレ
15	1-3)	Presentation 3	講義	プレ

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

Headway 5th Edition Student Book with Online Practice
ISBN: 9780194524230

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

Headway 5th Edition Workbook with Key
ISBN: 9780194527682

科目名	英語コミュニケーション		授業コード	110031B301	単位数	2単位
担当者(所属)	橋本 亜衣子		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	生命医科学科(2年)(1年), 薬学科(1年)		必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期		授業形態	講義, 演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	医療現場で必要とされる基礎的な英語力を向上させ, 外国人患者との英語でのコミュニケーションを可能にする。					
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を話す, 聞く, 読む, 書く力を高め, 医療現場で必要とされる英語の基礎を習得する 2. 英語の専門語彙を増やす 3. 患者からの情報収集や指示, 患者への情報提供等, 医療場面でのコミュニケーションに必要なフレーズ, 表現を習得する 					
実務経験のある教員による教育	担当者は医療機関での10年間の実務経験, 国外での6週間の実務研修経験に基づき, 実践に応用可能な授業を展開していく。					
評価方法	授業への取り組み姿勢(40%), 学期末テスト(60%)により評価。					
準備学習・履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書付属のCDを活用し, 予習・復習を行うこと ・授業に積極的に参加すること 					
オフィスアワー	月・水・金曜 8:15-8:45 臨床薬学第一講座(4号棟4階)及び授業前後に講義室において実施。					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1,2,3	オリエンテーション, 挨拶・自己紹介	講義・演習	橋本		
2	1,2,3	患者に伝える・確認する	講義・演習	橋本		
3	1,2,3	病院の案内, 方向・位置の表現	講義・演習	橋本		
4	1,2,3	身体の部位, 身体症状の表現	講義・演習	橋本		
5	1,2,3	緊急時・災害時の対応	講義・演習	橋本		
6	1,2,3	患者に質問する	講義・演習	橋本		
7	1,2,3	患者に指示・依頼する	講義・演習	橋本		
8	1,2,3	検査, 薬剤について説明する①	講義・演習	橋本		
9	1,2,3	検査, 薬剤について説明する②	講義・演習	橋本		
10	1,2,3	ロールプレイ	講義・演習	橋本		
11	1,2,3	チーム医療におけるコミュニケーション	講義・演習	橋本		
12	1,2,3	ロールプレイ	講義・演習	橋本		
13	1,2,3	医療英語読解・英文作成①	講義・演習	橋本		
14	1,2,3	医療英語読解・英文作成②	講義・演習	橋本		
15	1,2,3	総括	講義・演習	橋本		
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】						
医療スタッフのための英会話(ベレ出版)【978-4-86064-475-8】						
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】						
特に指定しない						

科目名	英語コミュニケーション	授業コード	110031B102	単位数	2単位
担当者(所属)	ポウラー プレン	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	Students will improve their understanding of basic English and be able to fundamentally communicate				
到達目標(SBOs)	1. Participation in class activities 2. Complete classroom tasks and assigned homework 3. Contributing to class discussions				
実務経験のある教員による教育	私は大学在学中に母国語が英語でない人に教える事ができる国際資格TESOLを取得。卒業後は、地元の大学の英語講師として勤めておりました。日本に移住をしてからは、市立のALT講師や民間企業の英語教育に携わりました。また、延岡に移住を機に幅広い年齢層の人々に親しんでもらうための英語教育を実現するために英会話教室を運営して活動しております。ナレーション、翻訳、地元のラジオのパーソナリティーとしても勤めております。				
評価方法	1. Attitude, contribution and participation in class discussions (5%) 2. Midterm and Final tests evaluating content covered during lessons (50%, Mid term 20%, Final 25%) 3. 3 Mini presentations over course of the term (30% total) 4. 2 Mini quizzes at the end of lessons (20% total)				
準備学習・履修上の注意等	1 コマ当たり 4 時間以上を目安に予習・復習を行うこと				
オフィスアワー	授業時間内になります Do not email directly, please contact student support if necessary.				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1-3)	Unit 1 Introductions and Orientation	講義	プレ
2	1-3)	Revision of Units 1 ~ 6 Explanation of expectations for term 2	講義	プレ
3	1-3)	Unit 8 Love it or Hate it Mini Quiz 1	講義	プレ
4	1-3)	Presentation 1	講義	プレ
5	1-3)	Unit 9 In The City	講義	プレ
6	1-3)	Unit 9 In The City, revision of content covered so far	講義	プレ
7	1-3)	Midterm Test	講義	プレ
8	1-3)	Unit 10 What Are You Doing?	講義	プレ
9	1-3)	Unit 10 What are you doing? ~ Unit 11 Going for it	講義	プレ
10	1-3)	Unit 11 Going For It Mini Quiz 2	講義	プレ
11	1-3)	Presentation 2	講義	プレ
12	1-3)	Unit 12 Have you ever	講義	プレ
13	1-3)	Unit 12 Have you ever?	講義	プレ
14	1-3)	Presentation 3 Preparation, revision of Units 7~12	講義	プレ
15	1-3)	Presentation 3	講義	プレ

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

Headway 5th Edition Student Book with Online Practice
ISBN: 9780194524230

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

Headway 5th Edition Workbook with Key
ISBN: 9780194527682

科目名	情報処理入門	授業コード	110084A102	単位数	1単位
担当者(所属)	井藤 英俊 (福・ス)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>情報処理は、①情報の収集、②情報の整理・分析、③情報の表示・配布の一連の過程で行われる。授業ではPCを用いて、①検索ソフトによる情報の収集、②表計算ソフト等による情報の整理・分析、③文書作成ソフトによる情報の表示およびプレゼンテーションソフトによる発表を行う。</p> <p>なお、近年は情報を扱うメディアの多様化、インターネットの普及によって、情報を正しく読み取り、発信していくためのメディアリテラシーを身につける必要がある。授業では基礎的な情報処理技術とともにメディアリテラシーについても習得する。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1)メディアリテラシーについて理解し、実践できる。 2)Wordで文書作成ができる。 3)Wordで写真やイラストを取り込んだ文書作成ができる。 4)Excelで表計算や集計ができる。 5)Excelでグラフ作成ができる。 6)Excelで関数を用いたデータ処理ができる。 7)PowerPointを使ってプレゼンテーションの資料作成ができる。 8)PowerPointを使ってプレゼンテーションができる。</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>情報処理に関する技能及びメディアリテラシーは、教育、健康、運動・スポーツに関する現場に限らず、様々な場面において必要とされるの能力である。 科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。</p>				
評価方法	<p>毎回の授業で作成したファイル(60点) 最終授業でのプレゼンテーション(20点) 授業への取り組み(20点)</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>テキストは配布プリントを使用。毎授業、授業時間内に課題ファイルの提出を行う。パソコン操作にはタイピングが不可欠である。各自練習し、入力速度と正確さを身につけること。 USBメモリーを必ず持参すること。</p>				
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	メディアリテラシーの理解 検索ソフトを用いた情報の収集	講義・演習	井藤
2	2)	Word1 文章作成と文字の編集	講義・演習	井藤
3	2)3)	Word2 文章作成とレイアウト、写真・イラストの編集	講義・演習	井藤
4	2)3)	Word3 写真・イラストを用いた文章作成	講義・演習	井藤
5	4)	Excel1 データの入力、表の作成	講義・演習	井藤
6	4)	Excel2 表の作成と加減乗除の計算	講義・演習	井藤
7	4)5)	Excel3 簡単な計算とグラフの作成	講義・演習	井藤
8	4)5)6)	Excel4 関数を用いた計算①	講義・演習	井藤
9	4)5)6)	Excel5 関数を用いた計算②	講義・演習	井藤
10	7)	Power Point1 資料の作成	講義・演習	井藤
11	7)	Power Point2 効果的な技術による資料の編集	講義・演習	井藤
12	1)7)	Power Point3 発表資料の作成①	講義・演習	井藤
13	1)7)	Power Point4 発表資料の作成②	講義・演習	井藤
14	1)7)	Power Point5 発表①	講義・演習	井藤
15	1)7)	Power Point6 発表②	講義・演習	井藤

教科書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

参考書 (著者名) 出版社名 【ISBN】

特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法は、その都度インターネットで検索すること。

科目名	情報処理入門	授業コード	110084A501	単位数	1単位
担当者(所属)	竹澤 眞吾 (生・生)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	生命医科学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	臨床業務や研究活動に不可欠なソフトの使用方法を理解し、十分活用できるようになるための基礎を学習する。内容はかなり高度なものまで含まれており(マイクロソフトオフィス検定レベル)、卒論などでも活用できるため、十分身につけることが望ましい。				
到達目標(SBOs)	1) 学科内で基本的なコンピュータ操作および情報取り扱いの際のモラル、倫理、セキュリティが理解できる。 2) Wordで文章の作成ができる。 3) Excellで計算の基本ができる。 4) PowerPointでプレゼンテーションの基本ができる。				
実務経験のある教員による教育	竹澤は善仁会横浜第一病院勤務中に院内、サテライト間の医療ネットワークを構築、情報処理に関する管理、指導を行っており、本科目全領域において実務経験を有している。				
評価方法	レポート(コンピュータの動作原理、Word、Excell、PowerPoint)にて評価、理解の低い内容は重点的に講義を行い理解度を深める。評価点は各25点満点とし、合計で100点満点とする。				
準備学習・履修上の注意等	ノート型パソコン(無線LAN付き)が必需品である。ソフトは、Microsoft社のWord、Excell、Power Pointを使用するので、大学から提供される無償バージョンなどをあらかじめインストールしておくこと。復習は必ず30分以上行い、ソフトに慣れておくこと。また、インターネットからの情報などを活用し、予習を30分程度行くと講義内容を理解しやすい。				
オフィスアワー	月～木曜日 15:00-17:00 / 金曜日 16:30-17:00 臨床工学棟3階工作室				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	【コンピュータの基本設定】 コンピュータの基本設定、ネットワークの基本とネットでのモラルについて説明できる。	講義	竹澤
2	1)	【コンピュータの基本】 Windows上でのソフトウェアとインターネットのセキュリティおよび倫理について説明できる。	演習	竹澤
3	1)	【コンピュータの構造】 コンピュータを分解し、内部構造について説明できる。	SGD (AL)	竹澤
4	1)	【コンピュータの部品動作】 分解したコンピュータ内部の部品動作を説明できる。	SGD (AL)	竹澤
5	2)	【Wordの基本1】 Wordの設定、日本語入力などの基本操作ができる。	SGD (AL)	竹澤
6	2)	【Wordの基本2】 Wordで基本的な文書作成ができる。	演習	竹澤
7	2)	【Wordの基本3】 Wordの基本文書校正ができる。	演習	竹澤
8	2)	【Wordの基本4】 Wordの基本操作<目次の自動作成>ができる。	演習	竹澤
9	3)	【Excelの基本1】 Excelの基本設定と基本計算方法が理解できる。	演習	竹澤
10	3)	【Excelの基本2】 Excelの基本計算方法<グラフ化>ができる。	演習	竹澤
11	3)	【Excelの基本3】 Excelの基本計算方法<シート間の計算>ができる。	演習	竹澤
12	3)	【Excelの基本4】 Excelの基本計算方法<if文を利用した条件判断>ができる。	演習	竹澤
13	3)	【Excelの基本5】 Excelの基本計算方法<Wordへの結果の貼り付け>ができる。	演習	竹澤
14	4)	【Power Pointの基本】 PowerPointの基本操作を学習し、テーマに沿った内容でレイアウトが取れる。	演習	竹澤
15	4)	【プレゼンテーション】 各自の調査した内容を発表し、他の学生に理解してもらう。	演習	竹澤

教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】

使用しない。

参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】

使用しない。

科目名	日向国地域論		授業コード	110125B401	単位数	2単位
担当者(所属)	横山 裕 (福・福)		時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)		必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期		授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義と通じてこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するための推進力を身につけることを目標とする。					
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。 					
実務経験のある教員による教育	行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。					
評価方法	毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。					
準備学習・履修上の注意等	外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。					
オフィスアワー	月水金12:30~13:00					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。	講義	横山		
2	1)	宮崎県北地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。	講義	横山・外部講師		
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。	講義	横山・外部講師		
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。	講義	横山・外部講師		
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。	講義	横山・外部講師		
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。	講義	横山・外部講師		
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身につける。	講義	横山・外部講師		
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。	講義	横山・外部講師		
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。	講義	横山・外部講師		
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。	講義	横山・外部講師		
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。	講義	横山・外部講師		
12	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。	講義	横山・外部講師		
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。	講義	横山・外部講師		
14	1)	県北地域で行われている新能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。	講義	横山・外部講師		
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。	講義	横山		
教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】						

必要に応じて別途指示する。
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】
必要に応じて別途指示する。

科目名	ボランティア活動	授業コード	110151A401	単位数	1単位
担当者(所属)	松原由美(福・臨) 藤原幸子(福・臨)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期、2023年度後期	授業形態	講義・演習及び活動		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>今日、地域社会においては「地域共生社会」の在り方が問われており、私たちは社会の構成員として、フォーマルなものからインフォーマルなものまで、様々な領域や場面で社会活動に参加し、貢献する役割が求められている。ボランティア活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的課題を考えて主体的に取り組む社会参加活動である。この授業では、ボランティア学習をとおして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会への参加を目指す。</p> <p>授業は、講義と演習及びボランティア実践活動を中心に進められる。実践活動報告書の評価や中間における自己評価、授業最終日にまとめた評価を行う。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1) ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。</p> <p>2) 受け入れ先の施設・団体の社会的な役割や多世代の価値観を理解することができる。</p> <p>3) 個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に、主体的かつ計画的に参加することができる。</p> <p>4) 対人援助の基礎として、身近な生活課題や地域社会問題を理解し、各領域における実践を念頭に置きながら活動することができる。</p> <p>5) 社会的マナーを理解し、契約(約束)を守ることができる。</p> <p>6) ボランティア体験を他者と共有するための演習等に積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することができる。</p> <p>7) 受け入れ先の施設・団体の目的を理解し、大学生ボランティアとしての役割について考察し、ボランティア体験で得た学びを、他者と共有することを通して、学習を深化させることができる。</p> <p>8) 報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく、正確に書くことができる。</p> <p>9) 個々の体験から得たものを言語化し、報告会にて発表することができる。</p> <p>10) 薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>科目担当者は、学校や児童福祉施設などの地域貢献活動等での5年以上の実務経験に基づき、「ボランティア活動」の習得を目的とした授業と実践指導を行う予定。また、外部講師として、ボランティア要請団体、ボランティアコーディネーター等の実践者を招く予定。</p>				
評価方法	<p>授業後における小レポートと演習及び学習への取り組み姿勢(レポート等の提出状況、授業態度)の評価を20%、活動内容及び報告書を50%、最終レポート30%とし、包括的に評価する。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>最初の3コマはオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネーター実践者からの講話、記録についてなどを事前学習として、座学で学ぶ。その後5月から翌年12月末までの間で10回程度のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを行う事については内容や団体などに一定の基準を設ける。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。年間を通して、活動実践の報告、振り返り、評価のための授業(演習)を3回程度、実施する。また、後期の最後に到達目標に関するレポート試験を実施する。受講者はボランティア保険に加入すること。</p>				
オフィスアワー	<p>時間割が確定後研究室に掲示する</p>				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1) 2) 3) 10)	<p>【事前学習①】</p> <p>1, オリエンテーション</p> <p>① 授業目標、意義、年間授業計画について理解する</p> <p>② 活動方法、手続きについて理解する</p> <p>③ 授業評価、単位認定方法について理解する</p> <p>④ ボランティア活動のルールとマナーについて理解する</p> <p>・ 窓口、ボランティア掲示板、学生連絡先の確認、自己紹介書の提出について</p> <p>2, 講義</p> <p>「今日におけるボランティアの意義」について理解する</p>	講義 演習	担当教員
2	1) 2) 3) 10)	<p>【事前学習②】</p> <p>1, 講義と演習</p> <p>① ボランティア活動とボランティア保険についてについて理解し、加入する。</p> <p>② 年間ボランティア活動計画の策定について理解し、作成する。</p> <p>③ 活動報告書の意義と書き方について理解し、書くことができる。</p> <p>④ ボランティア活動実践に向けての心得について理解する</p>	講義・演習	担当教員・外部講師
3	1) 2) 3) 10)	<p>【事前学習③】</p> <p>1, 講義</p> <p>ボランティア活動の実践事例を外部講師による説明を通して、ボランティアの内容を具体的に理解する。</p>	講義	担当教員・外部講師
4	3) 4) 5) 8) 10)	<p>【ボランティア活動実践】</p> <p>ー5月から12月までに、10回のボランティア活動を実践する。ー</p> <p>掲示板で紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加し、活動報告書に記録を書く。活動報告書は教員の添削を受ける。</p>	実践	担当教員
5	3) 4) 5) 8) 10)	実践	実践	担当教員

6	3)4)5)8)10)	実践	実践	担当教員
7	6)7)9)10)	【振り返り】 1,講話(先輩に聞く) ボランティア活動の意義と実践について 2,演習 前期の実践について評価し、レポートを書く	講話・演習	担当教員
8	3)4)5)8)10)	【ボランティア活動実践】	実践	担当教員
9	3)4)5)8)10)	実践	実践	担当教員
10	6)7)9)10)	【活動報告と評価】 1,活動報告① 計画を達成した学生から聞く 2,演習(実践の評価) 前期及び夏休みの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何かレポートを書く。 ③今後の計画の見直しをする。	演習	担当教員
11	3)4)5)8)10)	実践	実践	担当教員
12	3)4)5)8)10)	実践	実践	担当教員
13	1)6)7)10)	【講義と評価】 1,外部講師講義 地域貢献とボランティア活動 2,演習(実践の評価) これまでの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何かレポートを書く。	講義・演習	担当教員・外部講師
14	3)4)5)8)10)	実践	実践	担当教員
15	3)4)5)8)10) 6)7)9)10)	【活動報告と最終評価】 1,活動報告③ 計画を達成した学生から聞く 2,演習(実践の最終評価) ①実践の根拠を持った評価をする。 ②ボランティア活動の意義について考える。(レポート)	演習	担当教員
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】				
講義時に配布するプリントなどを使用する。				
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】				
講義時に配布するプリントなどを使用する。				

科目名	QOLと人間の尊厳	授業コード	110181B301	単位数	2単位
担当者(所属)	白崎哲哉(薬・薬)、外部講師	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義 SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のより良い人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。</p> <p>まず、「人間の尊厳」や「生命の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生(生命)観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、時に「人間の尊厳」と「生命の尊厳」は対立し、どのように理解し捉えようと良いのか難しい問題である。しかし、医療・福祉に携わる私たちは、この問題に対して常に思考し、医療技術の進歩や社会情勢の変化などに適応していかなければならない。</p> <p>また、病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ること、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」とは、quality of lifeの略で、「生活の質」あるいは「人生の質」と訳される。ひととしての尊厳を保ち、その人らしく満足のいく生活・人生を実現すること、そしてそこには、自らの生存のあり方を主観的・客観的に理解して自らの生と死の決定を行うことに根拠を与える概念である。医療・福祉の現場においては、近年、「QOLの向上」が重要視されている。</p> <p>本講義では、健康・疾病・障がいや生活の質に関わる様々な事例をもとにスモールグループディスカッション(SGD)や他者の意見を聴くことを通して、「より良い人生」や「QOL」、「人間の尊厳」とは何かについて理解を深めるための基礎知識と姿勢を修得する。</p>				
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) QOLの言葉の意味を説明できる。 2) 人生や生活における「質」について説明できる。 3) 医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、その概要と問題点を説明できる。 4) 医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。 5) 自らの体験を通して、QOLや人間の尊厳の重要性を考える。 6) 人の誕生、成長、加齢、死の意味を概説できる。 7) 医療・福祉に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。 8) 自らの体験を通して、生命の尊さについて討議する。 <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：A(1)【④医療人として】1-7【②薬剤師が果たすべき役割】7【③患者の安全と薬害の防止】6</p>				
実務経験のある教員による教育	医療・福祉領域におけるQOLの重要性や人間の尊厳の概念をさらに詳細に学習するために、医療・福祉の現場で活躍している外部講師を科目担当者に加え、実践経験に基づいた授業を一部展開する。				
評価方法	授業終了後に提出するレポートの内容を80%、学習への取り組み姿勢(動画の視聴態度、SGDへの参加態度、◎SGD後の発表、質問や発言など授業への参加、レポートの提出、返却物の受け取りなど)を20%として単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	<p>各回の授業の目的やSGDの内容・ポイントについて、授業開始時の説明や配布プリント等を介して把握し、自分なりの考えをまとめられるように、積極的に講義や視聴覚教材を視聴したり、調べ物をする。</p> <p>SGDでは自分の考えを述べ、他者の意見を聴いて思考を深めること。</p> <p>SGD後の発表の時間に、自分の意見を積極的に提示すること。</p> <p>返却されたレポートをまとめ、生命倫理や医療倫理、臨床薬学、実務実習など、関連科目での学習に役立てること。</p> <p>各回のテーマ・内容や順番は替わることがある。また、外部講師による講義に変更される場合もある。</p>				
オフィスアワー	月～金曜日 17:00～18:00 研究室 M402				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)~7)	導入 障害・薬害から人間の尊厳とQOLを考える	講義SGD	白崎	
2	4)	人間の尊厳を保つための仕事を考える	講義SGD	白崎	
3	3)4)7)	“尊厳をもって生きる”ということを考える	講義SGD	白崎	
4	2)	人間の尊厳と教育を考える	講義SGD	白崎	
5	1)2)3)4)6)	人間の尊厳とQOLから認知症を考える	講義SGD	白崎	
6	1)2)3)4)6)7)8)	医療におけるQOLと人間の尊厳を考える	講義SGD	白崎・外部講師	
7	1)~8)	教育こそ我が人生 教育からQOLと人間の尊厳を考える	講義SGD	副総長、白崎	
8	1)2)3)4)6)	生きがいのある人生をめざそう	講義SGD	白崎	
9	3)4)6)7)	立場の違いから人間の尊厳を考える	講義SGD	白崎	
10	2)3)4)	共に支えあう視点から人間の尊厳とQOLを考える	講義SGD	白崎	
11	2)	性の違いから人間関係を考える	講義SGD	白崎	
12	3)4)7)	“尊厳をもって生きる”ということを考える②	講義SGD	白崎	
13	1)2)5)8)	人生を豊かにするために	講義SGD	白崎	

14	1)~8)	QOLと人間の尊厳について考えをまとめる①	講義SGD	白崎
15	1)~8)	QOLと人間の尊厳について考えをまとめる②	講義SGD	白崎
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しません。				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
日本薬学会 編 スタンダード薬学シリーズII 1 薬学総論 I. 薬剤師としての基本事項 東京化学同人 （薬学入門で利用する教科書） 【978-4-8079-1700-6】				

科目名	QOLと人間の尊厳		授業コード	110181B401	単位数	2単位
担当者(所属)	池脇 信直 (生・医)		時間数	30	AL科目	『O』
配当学科(学年)	社会福祉学部・臨床心理学部・生命医科学部(1年生)・動物生命薬科学科(全学年)		必修・選択	必修(動物生命薬科学科は選択)		
開講学期	2023年度前期		授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活におけるquality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか?例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する。</p> <p>授業はQOLと人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う。</p>					
到達目標(SBOs)	<p>1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。</p> <p>2)QOLの言葉の意味を理解し説明できる。</p> <p>3)QOLと健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。</p> <p>4)QOLと公衆衛生活動・QOL評価を説明できる。</p> <p>5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。</p> <p>6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。</p>					
実務経験のある教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で10年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。					
評価方法	受講態度・講義中に行うディスカッション・毎回の講義後のレポート提出によって評価する。すなわち、毎回の授業終了後に理解度テスト(レポート課題)を行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD及びAL型授業において、学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。					
準備学習・履修上の注意等	授業は主に「QOLと人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題をSGD及びAL型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計29時間の自己学習を行うこと。すなわち、1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。					
オフィスアワー	毎週月曜日～金曜日：12:20～13:00					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(理事長&専務理事講和)	講義・SGD	池脇		
2	2)	QOLの意味について考える①	講義・SGD	池脇		
3	2)	QOLの意味について考える②	講義・SGD	池脇		
4	3)	健康・疾病・障がいからQOLを考える①	講義・SGD	池脇		
5	3)	健康・疾病・障がいからQOLを考える②	講義・SGD	池脇		
6	3)	健康・疾病・障がいからQOLを考える③	講義・SGD	池脇		
7	4)	QOLと公衆衛生活動を考える	講義・SGD	池脇		
8	4)	QOL評価を考える	講義・SGD	池脇		
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える	講義・SGD	池脇		
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える	講義・SGD	池脇		
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える	講義・SGD	池脇		
12	6)	人間の尊厳と人生を考える	講義・SGD	池脇		
13	6)	人間の尊厳とAI時代を考える	講義・SGD	池脇		
14	6)	人間の尊厳と希望を考える	講義・SGD	池脇		
15	1)2)3)4)5)6)	まとめ	講義・SGD	池脇		
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】						
使用しません。						
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】						

資料（プリント）を配付します。
参考書と参考文献を紹介します。

科目名	データサイエンスⅡ	授業コード	110199A501	単位数	1単位
担当者(所属)	竹澤 眞吾 (生・生)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	生命医科学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	社会人となって活躍するときに不可欠な基本ソフトの高度な使用方法を学習する。目標としては、Wordを使用した見栄えの良いパンフレットや報告書の作成、ページ数の多い論文作成時に有用な自動目次作成などを習得する。また、Excellではシート間計算や適切なグラフ作成などの技術を習得する。プレゼンテーションでは、国際的に通用するプレゼン技術を学び、社会をリードできる人材をめざす。				
到達目標(SBOs)	1) Wordを使用した見栄えの良いパンフレットが作成できる。 2) Wordを使用した見栄えの良い報告書が作成できる。 3) Wordを使用した高度な論文作成ができる。 4) Excellを使用した高度なグラフ処理ができる。 5) PowerPointを使用した理解しやすいプレゼンができる。				
実務経験のある教員による教育	竹澤は善仁会横浜第一病院勤務中に臨床工学技士に対して院内、国内外の学会発表を指導しており、本科目全領域において実務経験を有している。				
評価方法	レポート (Word、Excell、PowerPoint) にて評価、理解の低い内容は重点的に講義を行い理解度を深める。受講者全員が十分理解できるよう個別対応も実施、フォローする。				
準備学習・履修上の注意等	ノート型パソコン(無線LAN付き)が必需品である。ソフトは、Microsoft社のWord、Excell、Power Pointを使用するので、大学から提供される無償バージョンなどをあらかじめインストールしておくこと。復習は必ず30分以上行い、ソフトに慣れておくこと。また、インターネットからの情報などを活用し、予習を30分程度行くと講義内容を理解しやすい。				
オフィスアワー	月～木曜日 15:00-17:00 / 金曜日 16:30-17:00 臨床工学棟3階工作室				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	【見栄えが良いとはどういうことか?】 他人から好感を持たれるパンフレットなどは、どこに着目して作ればよいのか。人間の心理も配慮した"見栄え"について理解する。	講義	竹澤	
2	1)	【自分のパンフレットを作ろう-1】 Wordを用いて自分のパンフレット作成を複数行い、見栄えについて考える。	演習	竹澤	
3	1)	【自分のパンフレットを作ろう-2】 Wordを用いて見栄えの良い自分のパンフレット作成を行い、他者に与える影響について考える。	SGD (AL)	竹澤	
4	2)	【上司が喜ぶ報告書】 Wordを使用した報告書の在り方を学習し、ポイントを得た報告書はどうあるべきかを理解する。	SGD (AL)	竹澤	
5	2)	【報告書の作成】 実際に報告書を作成し、適切な日本語の使用方法について学習、理解する。	SGD (AL)	竹澤	
6	2)	【他人の文書を批判する】 他人の報告書を評価し、どこに問題があるのかを指摘する。これによって、上司はどこに着目しているのか、報告書に何を書くべきなのかを理解する。	SGD (AL)	竹澤	
7	3)	【Wordの応用】 Wordを用いて長文の論文体裁が適切に行う技術を理解する。	講義	竹澤	
8	3)	【論文作成】 見栄えの良い学術論文を完成させ、研究成果をどのように公表したらよいのかを理解する。	演習	竹澤	
9	4)	【Excelのシート間計算-1】 大量のデータを適切に処理し、グラフの作り方を理解する。	演習	竹澤	
10	4)	【Excelのシート間計算-2】 データ処理方法を学習し、簡単な統計結果が表示できるようにする。	演習	竹澤	
11	4)	【Excelのシート間計算-3】 見栄えの良いグラフの作成方法を習得する。	演習	竹澤	
12	4)	【Excelのグラフ裏ワザ】 特別な方法で、見栄えの良いグラフ作成技術を習得する。	演習	竹澤	
13	5)	【プレゼンとは何か?】 他人に自分の意向を適切に伝えるためのプレゼンテーションとはどうあるべきか?人間の心理を含めた適切なプレゼン方法を理解する。	講義	竹澤	
14	5)	【Power Pointプレゼンの極意】 PowerPointで他人を引き付けるプレゼン技術を理解し、実際に課題に沿ったプレゼンファイル	演習	竹澤	

		が作成できる。		
15	5)	【プレゼンテーション】 各自作成のファイルを発表し、他の学生に理解してもらう。	演習	竹澤
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しない。				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しない。				

科目名	インターンシップ		授業コード	110202A401	単位数	1単位
担当者(所属)	山本(生命医科学部)、三苫(生命医科学部)、西森(生命医科学部)、二反田(生命医科学部)、興梠(薬学部)、日高(薬学部)徳永(薬学部)、園田(薬学部)、前田(臨床心理学部)、戸高(臨床心理学部)、稲田(社会福祉学部)、清水(社会福祉学部)、渡邊(社会福祉学部)、中野(社会福祉学部)、正野(社会福祉学部)、神田(社会福祉学部)		時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	社会福祉学部・薬学部・生命医科学部・臨床心理学部(1年)		必修・選択	選択		
開講学期	2023年度後期		授業形態	講義・演習・実習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>本学の学則第1条には「本学は(中略)国際化社会に向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。</p> <p>本講義では、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題・チーム医療について考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。</p>					
到達目標(SBOs)	<p>1) 医療・福祉の定義を説明できる。</p> <p>2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から保健と福祉の関係を説明することができる。</p> <p>3) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。</p> <p>4) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の果たすべき役割について説明できる。</p>					
実務経験のある教員による教育	医療機関や研究機関等での5年以上の実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。					
評価方法	<p>本講義は、社会福祉+心理、薬学、生命医科学の3つのパートからなる。それぞれのパートでレポートを課し、理解度合いをチェックする。</p> <p>学習への取り組み姿勢(レポートの質、総合討論への参加、発表時の質問など)を20%、レポート80%で単位認定を行う。</p>					
準備学習・履修上の注意等	<p>社会福祉+心理(講義演習5コマ)</p> <p>薬学科(講義演習5コマ):薬剤師の業務から考えるチーム医療とは</p> <p>生命医科学科(集中5コマ)</p>					
オフィスアワー	授業開始前開始後 担当教員が質問を受け付けます。					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1) 2) 3) 4)	社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉専門職の役割と連携のあり方を理解する 福祉	講義	稲田・清水		
2	1) 2) 3) 4)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸	講義	渡邊・中野		
3	1) 2) 3) 4)	スポーツ・レクリエーションと医療・福祉とのかわり スポ	講義	正野・神田		
4	1) 2) 3) 4)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理	講義	前田		
5	1) 2) 3) 4)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語	講義	戸高		
6	2)~4)	直前学習: 薬剤師の仕事学ぶ 薬剤師の仕事体験(1): 処方監査	講義・実習	興梠		
7	2)~4)	薬剤師の仕事体験(2): 液剤の調剤	講義・実習	日高		
8	2)~4)	薬剤師の仕事体験(3): バイタルサインの確認	講義・実習	徳永・園田		
9	2)~4)	総合討論(1): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する	SGD	日高		
10	2)~4)	総合討論(2): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する	SGD・総合討論	日高		
11~15	1) 2) 3) 4)	<p>1. 臨床検査とは何かを理解し、経験する。</p> <p>1) 一次救命を経験する。</p> <p>2) 心電図検査を経験する。</p> <p>3) 肺機能検査を経験する。</p> <p>4) 超音波検査を経験する。</p> <p>5) ヒトの血液細胞を顕微鏡で観察する。</p> <p>6) 各組織のがん細胞顕微鏡で観察する。</p>	演習・総合討論	三苫、山本、二反田、西森		

教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。

科目名	経済学	授業コード	110059B101	単位数	2単位
担当者(所属)	金谷 義弘 (非常勤講師)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	<p>オンライン講義(集中・遠隔) + Chatによるレポート提出, そのレポートの受講生による相互参照, 金谷によるレポートへのコメントや, Chatを使った質疑応答. 他の受講生のレポートへの感想や質問, 可能なら討論。</p> <p>〔重要〕第一回目の講義に対するレポートから, Chatを利用する!</p> <p>(1)そこで, 第一回目以前に, 授業担当者の金谷から受講生へ, eメールでChatへの「招待メール」を送信し, 受講生全員がChatにログインできる状態を確保します。</p> <p>(2)そのため, 集中講義の案内があり, 教務課から連絡が来たら, 授業開始日を待たず, 金谷の招待メールを開き, そこにある指示にしたがってID・PWの設定を完了して下さいね!</p> <p>(3)トラブルがある場合は, 金谷へeメール等で連絡を下さい!</p>		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>この世の中で人は生きています。この世の中とは人間社会です。福祉に携わろうと、スポーツ振興に関わろうと、臨床心理を活かして多様な人々の自己実現の支援にかかわろうと、私たちの社会的活動には「企業経営」と「経済的基盤」があるのです。あなたの社会活動に資源配分が必要だという自明のことは、(1)一般化すると実社会での活動は全て「経済的基盤」を持っているということの意味します。また、(2)この経済基盤は、静止状態にあるのではなく、時々の技術革新によって常に変動・刷新されているのです。あなたも近々その一員になる社会経済は、それぞれの社会領域の下で、この技術基盤の絶えざる変動と社会経済の展開にさらされて変異し続けているのです。したがって、(3)その変異の影響を受ける中、就職したあなたの専門性を如何に活かし高めるかという課題を強いられていくものなのです。</p> <p>そこで本授業「経済学」の任務は、以下の四点です。</p> <p>(1)あなたの専門性を活かすために不可欠の、社会経済現象を理解する「実践的な眼」を育てること、</p> <p>(2)現代だけに眼を奪われるのではなくて、歴史的な経過の中において「今！」を捉える感覚、そこから「これからど～なるッ！」と把握する「歴史的で現代的な位置感覚」を養うこと、</p> <p>(3)COVID-19感染拡大、エネルギー資源や食料などの世界的争奪戦、デジタルトランスフォーメーション(DX)などが、世界と日本に如何なる影響を与えているかを「理解しよう！必要なことだッ！」という心を育てること、</p> <p>(4)経済・経営、法と制度、行政などが、あなたの専門の医療や福祉などあらゆる社会領域に影響し、時にあなたを苛むことすらあると把握し、身を守りながら自立・自律する課題があること、などを理解することです。</p> <p>本講義は、そうした四つの観点に立って授業を行います。そのために、皆さんが活動する福祉やスポーツなどを包み込む、現代経済の仕組みを数学抜きで、どちらかという物語的に「大きく太く」捉えて分かりやすく進めます。</p> <p>僕の息子の一人は、この大学を出て頑張っています。息子を育てて下さった大学に僕は感謝していて、手を抜くことなく頑張る授業を行います。15回休まず受講して下さい。どうか宜しく!</p> <p>このように広く社会経済というものをとらえると、時代を生きる「大局観」があなたの中に生まれること、それが本講義の目標です。ゆっくりと、しかし着実に学んでいきましょう。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>★本講義の目的★</p> <p>資格というもの、それを持つものだけに「一定の活動」を独占させるものです。だから資格は重要です。しかし、資格だけで生きていけるものではありません。資格は資格を「活用できる幅広い視野に支えられ」てこそ生きるものです。この能力の幅というものを大学は教える理想を持っているのです。そのためには社会を見渡す社会経済的な視野が不可欠なのです。そこで、本講義の到達目標は以下の諸点です。</p> <p>1) 経済現象を理解できる見方・感覚を身につける、時代の変化に「敏感」になること(社会人になっても新聞を読み続けることもここに入ります)、</p> <p>2) 経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、</p> <p>3) 技術革新と経済発展の観点から、現実を見ることができ、</p> <p>4) 医療や福祉などの経済が、自動車や情報通信などの産業諸分野とどのような特性を持つかを、この授業を越えて大学生生活全体で体得・把握できること、</p> <p>5) もって、社会で仕事や課題(それは日々皆さんの専門性を越えた総合力を要求することになります)を分析し、仲間と力を合わせて戦略立てる目標を持つこと、</p> <p>6) 最後に、これからも変化・発展する、日本における社会・経済・政策と制度変化に応じて必要な専門的情報を探し出せること。</p> <p>★目標達成の方略-Chatを併用した遠隔授業の環境で何ができるか? -★</p> <p>この目標達成のために、</p> <p>1) 〔講義〕あなたのこれまでのを回顧し未来を展望するために、多数の具体例を挙げつつ経済の原理・歴史・現状を口述する。</p> <p>2) 〔毎回の500字レポート〕自分自身の専門性の関心を取り入れて書いてもらい、アップしたChatを通じて、サツとでも良いから、必ず他の受講生の発言も読み切る。</p> <p>3) 金谷はこれに対して、高等数学など使わず分かりやすいコメントを行なう。これを必ず読んで、次のレポートや最終レポートに活かして行って下さい。授業が終わる頃には、あなたは一定の表現力と更なる改良のヒントをつかむでしょう。</p> <p>4) 他の受講生や教員に見て貰いたいWeb記事があれば、Chatに簡単なコメントと共に「URL」を貼り付けて下さい。</p> <p>5) 「レポートを出しっぱなし、コメントを読みっぱなし」にしないで、忙しいだろうが、質問や、他の受講生のレポートへのコメン</p>				

	<p>トなどをすれば、重要な加点要素として取り扱う。</p> <p>6) 顔は見えません。発問について恥ずかしいと思わないで素朴な疑問 (だいたい素朴は疑問はとも皆のために役立ちます!) を出す、ちょっと前向きな気持ちを最後まで持って下さい。</p>
<p>実務経験のある教員による教育</p>	<p>道具を使って加工を行う手工業の生産から、機械による生産への移行を、京都の伝統産業の一つ「京扇子」のメーカーの一員として8年間に担った(金谷竹材工芸, 京都市山科区の伝統工芸団地)。内容的には、(1)機械の設計・開発、(2)旋盤・電気溶接による部品製造、(3)これに伴う工場レイアウトの見直しや従業員の衛生・安全確保、(4)経理と資金繰りである。当時、高校生であるため、父親の名前であったが、設計・開発で工場内で有効だった新技術(扇子の要〔かなめ〕における「カシメ」工程の機械化で、既製品のカシメ機の弱点を克服して「扇骨の塗料を傷めずに、座金とシャフトとこれをかきしめるインパクトの形状と動作の制御に関わる開発)で二件特許を取ったこともあります。</p> <p>その後、南九州で大学教員として働いた時期にも、新しい機械化の開発などで討論・協議を行った。</p> <p>この経験は、1998~1999年のベルリンでの在外研究や、その後の渡欧に伴う欧州製造業(自動車・自動車部品・二輪車・半導体・電気機械など)の調査研究で普遍的な視点になった。これらは本講義での、英・米・独・仏などの19世紀における産業革命における技術革新から、現代の物のインターネット(IoT)、自動車の自動運転(Telematics)や電気自動車化、通貨・金融のICT化(FinTech)、あらゆる経済活動への人工知能(AI)の応用に至る「技術の発展と経済・経営の変容」を経済学的に把握し講義を行う地歩を作った。こうした経験を授業で活かしていきたい。</p>
<p>評価方法</p>	<p>A本授業は遠隔授業の集中講義です。</p> <p>B.資料配付に基づいて授業をライブで行います。Chatを併用します。Chatには毎回のレポートをアップして貰います。</p> <p>C.Chatにアップされたレポートは、受講生全員が閲覧できます。本授業では、★受講生のこの点への了解を前提に受講を認めます★。</p> <p>D.授業担当者の金谷は、Chat上で提出されたそれぞれのレポートにコメントを加えます。</p> <p>E.動画視聴履歴とChatでのレポート提出、教師のコメント閲読を確認して、平常点の成績評価を行います。</p> <p>E.成績評価は、平常点として「5点満点/回×15回 = 75点」に加えて、各回のレポートから読み取れる、受講生の授業理解、説明の質、受講姿勢、疑問点を出す力などを勘案し、これに最終レポートを評価し、合計25点を加えて、100点満点で採点する。</p> <p>F.★注意★令和3・4年度にこの方式で運用した結果、分かったことは、2~3回休むと即、10~15点の減点になり、その他の回が全部5点満点としても、相対的に大きな減点になります。油断すると秀が優、優が良、良が可になります。注意して下さい。</p> <p>☞ 遠隔授業なので、「休まず」毎回受講することが「原則」です。特段の注意を払って下さいね!</p> <p>☞ 何等かの事情がある場合は、事前に個別に相談して下さい。用意するChatには、全員が入れるグループチャットと、金谷とあなたの一対一のダイレクトチャットがあります。</p>
<p>準備学習・履修上の注意等</p>	<p>(1) 心構えの問題として、経済学などを学ぶことは、皆さんの専門教育と異なり、自分の技能を現代社会の中に「位置づける」力を涵養することを忘れて欲しない。</p> <p>(2) 社会・経済とその絶えざる変動などの複雑な諸条件の中に、本当は存在している、皆さんの職場、医療・福祉の現況を感知する理解力・広い視野の獲得を目指して欲しい。</p> <p>(3) 資料は、十分読むに値するように書かれているので、アップされたら予習し、授業後のレポート作成時に復習に使って下さい。</p> <p>(4) 第一回目に、★どのようすれば信頼に値するデータを獲得できるか?!★について、説明するので、各回の500字レポート作成に使ってもらいたい。</p> <p>(5) 適切な時期に、最終試験の問題を複数選択できるように事前公開する。</p> <p>(6) 上掲(3)の配布資料は「膨大になる」ので、毎回きっちりファイリングして、授業全体を見通した復習をされたい。</p> <p>★経済という社会の「威力」はすべての日本人の行動に深く影響をしてくるものです。</p> <p>☞ 「ついでにやる教養科目」などではなく、実社会に出て生き、働く上での見当をつける目的意識を持って臨んで下さい!</p> <p>(1) 遠隔授業・集中講義という二つの制約がありますが、ICTの有効利用で、ALの実施に務めます。</p> <p>(2) 毎回レポートでは、500字標準(多くの場合はAL的性格によって字数制限を越えたことが毎年起こっています)の短いものにしますが、</p> <p>(3) その受講生にしか書けないような「質問を提出」してもらいます。</p> <p>(4) この質問は、初回に指示する期限内に、受講生全員が読める「Chat」にアップしてもらいます。Chatに入れる手続きも指示します。</p> <p>(5) 非常勤講師の金谷は、オフィスアワーがありません。でもダイレクトチャットなどでど~ぞ!</p> <p>(6) 質問を出す「500字レポート」でも質問を「言語化する」のが難しいと感じる場合がありますが、</p> <p>☞ 受講生の皆さん、質問の「直観」を「形=言葉」にする作業自体も大事です。だんだん上手くなってくれたら良いと思います。</p> <p>☞ 金谷のコメントを受けて、再質問は「OK!」です。これは内容が良ければ、加点要素になります。</p> <p>(6) こうした応答的環境を提供していくと、一方的な遠隔授業ではなく、意外に良い深さができます。</p> <p>☞ ★授業開講前になったら、全員に指示して「ChatWork」に入れるようにします!指示に注意して下さいね!★</p> <p>☞ 休憩室と称して、経済に関係なさそうに見えるものも、金谷の側でアップする場合があります。遊んでいるのではなく、その意図を予測して下さいね。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>非常勤なので、</p> <p>(1) 第1回に開始されるChatを使って問い合わせたい。じいさんなので、多様な人生相談にも応じます。ちなみに僕はフルートを54年やっていて、かつて、ベルリンでクラシック系(今はポップも)ストリートミュージシャンもやっていました。1時間1ギグ10,000円以上になりました(笑)。なので、何故、ウィーナーワルツがウィーン(オーストラリア首都)で盛んになったかの社会経済背景など、オーストラリア産業革命との関係で話すなどなんでもします(笑)。今はボサノバも、ジャズも、自分より高齢の方のために戦後歌謡曲も演奏します。</p> <p>(2) 毎回のレポート課題そのものが「質問」を出す場です。授業を聞かなくて「配布資料をちょっと転記する」などしてもバれます(笑)。自分の言葉で質問など出して下さいね!</p> <p>(3) 「集中講義+遠隔授業」なので、上掲のように「毎回視聴」+「毎回レポート」で、疑問をどんどん出して下さい。</p> <p>(4) 他の受講生に見られたくない授業に関する質問や、その他、「ダイレクト・チャット」を使って下さい。これはチャットを開くと分かります。</p>

授 業 計 画				
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	6), 1)	【第1回「社会経済情報の取得とWeb検索の実践講座 — よりましな情報はどこにある?! —】 A.これは就活などに直結もするノウハウ講座です。当面は、本授業に、でも特定の業界や社会経済	講義, Chatによるレポートと、受講生の	金谷

		<p>の情報収集は、その後の活用でこそ力を発揮します。</p> <p>B.はっきり言って、大学入学時点で調査してみて、皆さんの検索能力は、極めて「偶然的でGoogleやYahoo、最新ではChatGPTなどの『システムに災いされる』という困難な状態です！</p> <p>C.ではどうするか検索エンジンにキーワードを入れて…?!</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 実際には良い加減な情報も氾濫している。そんなことでは良い情報に出会えない。当たり前前にことに気が付いて。 ☞ 無料でWebに貴重な情報がある訳がない。 ☞ よりまし、より良いものを選び出す拠点を知る「鑑識眼」が大事だ！ <p>D.では、どこに質が良く、よりましな情報は集約されているのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 「ちょっとやってみた！」という偶然的な検索と、単なる検索結果の「表示序列」盲従からの脱却を目指す経済学の学び。請う、ご期待!!! 	レポート相互参照、金谷のコメント。	
2	1), 5), 6)	<p>【第2回 「生活費の経済学 — 大学入学まででいくらかかった？これからは？ —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親が支払った大学入学前の費用総額、大学在学中、就活費用、結婚・出産、住宅購入、保険（生損保医療）、教育費、相続、介護等々。聞いてびっくり、知ってびっくり。 ・そしてだんだんと親への経済的な依存の重さを知り、就職と社会的自立について深く考えるようになれます。 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
3	1), 2), 3), 6)	<p>【第3回 「貨幣とICT・Web化の経済学 — プリペイド・デビット・クレジットカードから —】</p> <p>A.まずは市場経済の基本をなすお金（貨幣）の話から始めますが、千円札とWaonやnanaco、クレジットカード、デビットカードなど、身近な現金とキャッシュレスの話から。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備：千円札、あれば5千円札、1万円札と、あればルーペを用意して下さい。 <p>B.ポイント付与を使って、こちらではnanaco、こちらではWaon、こちらではSuicaと、各社囲い込みの競争を展開している。その仕組みを簡単に説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それが大事だが、更に、その背後にある「企業間取引」の支払い決済から中央銀行、ウクライナ進攻に対する経済制裁で有名になった「SWIFT」まで行きましょう！ <p>C.ICT・Web化で激変に見えるが、キャッシュレスの諸手段は現金や預金口座に依存しており、「貨幣の本質は変わらない」こともまた確認しましょう。</p>	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
4	1), 2), 3), 6)	<p>【第4回 「商品と貨幣の経済学 — その1.商品とは何か？ —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品とは何か？商品の使用価値と、日々変動する価格の中心にある価値とがどのようなものか？ ・問題は区別する頭を作ることです。 ・どうやって採集されたり生産されたりした労働生産物は「商品」になるか？ ・貨幣とは何か？その諸機能。第二回目はこの辺で時間切れです。 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
5	1), 2), 3), 6),	<p>【第5回 「商品と貨幣の経済学 — その2. 古今の貨幣、そして何故、歴史的に貨幣が生まれたか？ —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州のEuro以前の各国の紙幣とコインを中心に、各国の「お金」を見ましょう。 ・日本銀行券という世界的な優れものの紙幣の「偽造防止システム」を「発見」しましょう。 ・貨幣の機能には、価値尺度、流通手段、支払手段、蓄蔵貨幣、世界貨幣などの諸機能があり、その複合体として貨幣を把握してね！ 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
6	3), 1), 2), 6)	<p>【第6回 「産業革命と資本主義経済確立の経済学 — その1. イギリスの産業革命 —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具と区別された機械とは何か？ ・機械化の技術革新と綿紡績・綿織物産業 ・人力・畜力・風力を越えた動力革命としての蒸気機関、その燃料としての石炭。 ・綿紡績と綿織物という軽工業をコアにしたイギリスの産業革命。 ・資本家が生まれてきて、アイルランドなどから来た人々も含めて多数の労働者を雇う。 ・動力革命は、蒸気機関を船ののっけて蒸気船、レールの上の車にのっけて蒸気機関車、すなわち交通革命へ。 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
7	2), 3), 1), 4), 6)	<p>【第7回 「産業革命と資本主義経済確立の経済学 — その2. イギリスから世界へ広がる産業革命 —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスに対抗して、産業革命は19世紀に欧州・アメリカ・日本に広がる！ ・生み出されたのは、機械制大工業になった帝国と、それ以外が彼らの植民地だ。 ・この経済発展の影響を受けて、経済以外の様々な国民生活が変化したよ。巨大都市の形成、婦人の勤労者の増加、植民地のモノカルチャ化、国境・大陸を越える移民、鉄道・定期航路・運河・電信(=通信)のネットワークが世界を覆う！ ☞ 生み出されたのは自力で活動する資本主義経済、封建制のしくみに依存しない資本主義経済体制で、アメリカは古い時代の遺制が無い発展を遂げた。 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
8	2), 3), 1), 4), 6)	<p>【第8回 「20世紀大量生産の時代と産業循環の経済学 — アメリカ1920年代と大恐慌への転変 —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H.フォードとT.エジソンの時代、道路建設、水より安いガソリン、電化、そして住宅建設。 ・「投資が投資を呼ぶ」経済発展と大量生産・大衆消費社会・バブル経済の時代。 ・そして、1920年代アメリカの経済発展の反動としての大恐慌。 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷
9	2), 1), 3), 4), 6)	<p>【第9回 「流通業の経済学 — 20世紀初頭のSearsと現代のAmazonの対比 —】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ通販によって流通革命を起こしたSears、工業デザイナーを自ら育成して定期的にカタログ販売し、郵便で注文し、発送工場から送付する。 ☞ 何故、シアーズさんは成功したか？ ・対して、現代のeコマースのAmazon。更に、AWS (Amazon Web Service) のAmazon。 ・両者を対比して、何が変わった？何が変わらない？！ 	講義、Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照、金谷のコメント。	金谷

10	1), 2), 3), 4), 5), 6)	<p>【第10回 「どのようにして利潤が生まれるのか！の理論経済学」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「投資－生産－投資＋利潤」のサイクルから成り立つ資本主義経済。 ・賃金は、衣食住・修養・次世代育成の諸経費からなる。 ・賃金労働者を雇って、機械設備や原材料を与え生産させる経済システム、これが利潤を生む。それが資本主義経済だ。 	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷
11	3), 1), 2), 6)	<p>【第11回 「市場における優位を巡る競争の理論経済学」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ商品を作っても、各企業毎の生産性やかかる費用は異なる。そこに競争優位を巡る企業の利潤追求の競争が成立する。 ・ここで資本主義経済が常に技術革新に駆り立てられるのか、市場の競争を越えて、機械や工場、輸送手段などがどんだんの巨大化する理由が明らかになる、産業革命などの理由が、何故今AI化や自動車のEV化・自動運転化などが大騒ぎになるのかの理由が見えるようになります。 ・それが年々歳歳繰り返される！社会経済の発展のトレンドが読み取れる！ 	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷
12	1), 2), 3), 4), 6)	<p>【第12回 「エネルギーの経済学 ―ロシアのウクライナ進攻の背景からエネルギー問題を知る―】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの根っこにあるものは、太陽や地球地下からの熱水など原子力がある。その上に化石燃料である石炭・石油・天然ガスなどが形成される。更に水力・原子力・再生可能エネルギーがある。 ・欧州は、ウクライナに侵攻したロシアにエネルギーを握られている。 ・また、地球環境保護・温暖化防止などの問題打開のために、質の悪い石炭や原油の使用を抑制し、再生可能なエネルギーへ移行しようと、世界の先頭に立っているのが欧州でもある。そして、よりましな化石燃料である天然ガスの消費が増加してきたところへ、ロシアのウクライナ進攻があった。 ・データを読み取りながら、今回の大事件の背景を追跡する。 <p>☞ ただし、シラバス執筆の時点から事態がどう動くかによって、内容は調整します。</p>	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷
13	1), 2), 3), 4), 6)	<p>【第13回 「経済発展により経営学が生まれる経済学 – 何故、20世紀初頭にアメリカ経営学は生まれたか? –】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械制大工業の工場は巨大化する。 ・指揮命令は誰がする? 経営者が親方に任せる時代は限界を迎える。 ・その中でどんな経営＝マネジメントが生まれたか? 限定してアメリカ経営学の初期を追跡する。 	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷
14	1), 2), 3), 4), 5), 6)	<p>【第14回 「『道の駅』の経済学 – 地域のサプライチェーンの補強と経済浮揚 –】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅」は農産物販売所とどう違うの? 何か基準があるの? 誰が運営しているの? ・特産物が並べられて売ればいいね。でも、やばい物産が並んだりしない? ・地域にどのくらいの効果があるの? <p>☞ この回の500字レポートは、受講生自身の出身地やなじみのある「道の駅」の紹介レポートになります。</p>	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷
15	4), 1), 2), 3), 4), 5), 6)	<p>【第15回 「医療の経済学 – 医療保険・薬価・アクセス –】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の基本的特徴＝専門家集団、非営利、, , , 。 ・国民皆保険とは何か? ・技術革新, ICT・AI化の波は、非営利の医療（や福祉、更にはスポーツにも及ぶ!）。 ・そうした変化の中で専門家集団を支える「資格」は如何に変化するか? <p>☞ この回などは、授業開講期間における大きな社会経済上の出来事などに対応して、ものづくりの経済学、プラットフォームの経済学などに変更する場合があります。</p>	講義, Chatによるレポートと、受講生のレポート相互参照, 金谷のコメント。	金谷

教科書（著者名）出版社名【ISBN】

- (1)特になし。
(2)配布資料を印刷して授業にのぞみ、書き込みをするようにしてほしい。
(3)Windowに開かれたファイルは、なかなかインパクトが弱く、500字レポート執筆のために授業時間中にひらめいた「メモ」は、レジメから切り離されてしまいますね。

参考書（著者名）出版社名【ISBN】

- 参考文献やWebサイトについては、逐次、授業中に配布資料にて指摘して行く。
配布資料は毎回「読み返せる資料」として多数配布するので、毎回、ファイリングを確りしないと、最終試験に当たる「最終レポート」執筆時に混乱します。ご注意！
参考書とは言いにくいけれども、読んで欲しいのは、以下の三つかな?!
- (1)新聞,
(2)経済系週刊誌（普及して今はコンビニにも置いてある場合がある『週刊 東洋経済』, 『週刊 ダイヤモンド』, 『週刊 エコノミスト』）。
☞ 毎週、これらには「特集」が組まれているので、見つけたら立ち読みで表紙の内容見出し（リード）を確認して、医療だとかリスクだとか、気に入ったテーマがあったら買ってみるのも良いと言えます。
(3)小説の中のジャンルで言うと「経済小説」, 「企業小説」。この二つのキーワードでWeb検索したら、沢山の人が「これは名著!」と一押し、二押ししてくれるよ!
☞ こんな読まないから、アルバイト経験からしか「勤労」が分からないことになる。

科目名	外書講読Ⅲ	授業コード	110046A301	単位数	1単位
担当者(所属)	橋本 亜衣子	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(3年次)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	本授業では英語文献の読解力、医療に関連する英語能力全般の向上を目的とし、薬剤師業務に関するガイドライン（World Health Organization : WHOおよびAmerican Society of Health-System Pharmacists : ASHPが公表するガイドライン）、コミュニケーションスキルに関する文献を講読する。				
到達目標(SBOs)	1) 英語文献の内容を理解できる 2) 英語文献の内容を要約できる 3) 英語文献から得た情報を日本語で記述できる 薬学準備教育ガイドライン（例示）との対応（2）薬学の基礎としての英語【読む】【書く】【聞く・話す】				
実務経験のある教員による教育	担当者は医療機関での実務経験、国外での実務研修経験、留学経験等に基づき、薬学修得および卒業後の実務に応用可能な講義を展開する。				
評価方法	学期末試験（70%）、授業への取り組み姿勢（30%） 要望があれば、授業毎の確認テスト（小テスト）を実施します。				
準備学習・履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布する資料の予習、授業の復習を行う ・授業に積極的に参加する ・辞書等、各自必要なものを持参する 				
オフィスアワー	月・水・金曜 8:15～8:45 臨床薬学第一講座（4号棟4階）および授業前後に講義室において実施。				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1) 2) 3)	オリエンテーション, WHOガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
2	1) 2) 3)	WHOガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
3	1) 2) 3)	WHOガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
4	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
5	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
6	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
7	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
8	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
9	1) 2) 3)	ASHPガイドライン講読	講義・SGD	橋本	
10	1) 2) 3)	コミュニケーションスキルに関する文献講読	講義・SGD	橋本	
11	1) 2) 3)	コミュニケーションスキルに関する文献講読	講義・SGD	橋本	
12	1) 2) 3)	コミュニケーションスキルに関する文献講読	講義・SGD	橋本	
教科書（著者名）出版社名【ISBN】					
指定しない					
参考書（著者名）出版社名【ISBN】					
指定しない					

科目名	生物学	授業コード	110101A301	単位数	1単位
担当者(所属)	吉田 裕樹 (薬・薬)	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	適切な医療を実践するためには、生命のしくみを理解することが重要である。生命のしくみを理解することは、ヒトの身体、疾患、治療法、薬の作用や副作用を理解することに繋がる。 そこで、生物学では、生命のしくみを分子・細胞・個体レベルで理解して、薬剤師として適切な医療を実践できるようになるために、生命の基本概念(属性)、基本構造(構成成分、細胞)、機能、特徴などに関する知識を修得する。				
到達目標(SBOs)	<p>1) 生物系科目のつながりと学ぶ意義を説明できる。 2) 生命の基本属性と仕組みを説明できる。 3) 生命の構成成分を説明できる。 4) 細胞の構造と機能を説明できる。 5) 疾患の発症にかかわる分子基盤と治療法を説明できる。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラム C6-(1)-①-1.2. -②-1. -③-1. C6-(6)-③-1.2. C6-(7)-①-1.2.</p> <p>薬学準備教育ガイドライン (6)-①-1.2.3.4.5. ②-1.2. ④-1.2. ⑤-1.2.3.6.7. ⑥-1.2.3.5.</p>				
実務経験のある教員による教育	科目担当者(吉田)は、海外研究所(研究員)および国内大学病院(薬剤師)での実務経験に基づき、基礎科学の知識が臨床現場でどのように応用・実践されているのか、その繋がりを強調しながら授業を行う。これにより、学生が基礎科学を学ぶ意義を理解し、論理的思考能力を醸成することで、臨床現場における種々の問題の解決能力を修得することを目的とした教育を行う。				
評価方法	中間確認テストの結果をもとに、学習進捗状況や理解度を把握し、レポートおよび中間まとめ演習においてフィードバックを行う。なお、レポート(提出状況、内容、返却受け取り状況)の評価を10%、中間確認テストの評価を30%、学期末の単位認定試験の評価を60%として、総括的に評価し、単位認定を行う。ただし、単位認定試験においては、足切りライン(得点率40%)を設ける。評価の基準は授業開始日に説明する。				
準備学習・履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、合計24時間以上の予習・復習を行うこと。(1回の授業につき2時間を目安に予習・復習を行うこと。) ・必ず、授業前後に該当する範囲の教科書を熟読すること。また、参考書等を用いて、問題を多く解くこと。 ・遅刻および授業中の私語は厳禁である。 				
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日17:00～18:00 研究室(M-524)において。 ただし、他の授業・実習・公務等がある場合は除く。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1) 5)	【生物学・生命科学、生化学を学ぶ意義を考える】 ・薬学で学ぶ生物系科目のつながりと学ぶ意義を理解する。 ・代表的な疾患の分子基盤と治療法の具体例を見ながら、生物系科目の知識が医療で実践されていることを理解する。	講義	吉田
2	2) 3)	【生命を構成するもの①】 ・生命の基本属性を理解する。 ・生命の構成する細胞・元素・分子の概要を理解する。	講義	吉田
3	3) 5)	【生命を構成するもの②】 ・水と緩衝液の性質を理解する。 ・アシドーシスとアルカローシスと理解する。	講義	吉田
4	4)	【生命を構成するもの②】 ・細胞の種類と構造的特徴を理解する。 ・細胞膜の構造と膜輸送を理解する。	講義	吉田
5	4) 5)	【生命を構成するもの③】 ・細胞内小器官の構造と機能を理解する。	講義	吉田
6	4) 5)	【生命を構成するもの③】 ・細胞内小器官の構造と機能を理解する。 ・細胞骨格の種類と特徴を理解する。	講義	吉田
7	4)	【生命を構成するもの④】 ・細胞接着構造の種類と特徴を理解する。 ・原核細胞と真核細胞の違いを理解する。	講義	吉田
8	1) ~5)	【中間まとめ演習】 ・1~7回のまとめ	講義、演習、SGD	吉田

9	2)	【生命のしくみ①】 ・細胞の増殖の概要を理解する。	講義	吉田
10	2)	【生命のしくみ②】 ・遺伝と生命情報の概要を理解する。	講義	吉田
11	2)	【生命のしくみ③】 ・生体エネルギー代謝と酵素の概要を理解する。	講義	吉田
12	2)	【生命のしくみ④】 ・生命の恒常性と環境応答の概要を理解する。	講義	吉田
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
薬学領域の生化学 第2版（伊藤晃・藤木博太 編集） 廣川書店【978-4-567-24411-4】				
理系総合のための生命科学 第5版（東京大学生命科学教科書編集委員会 編集）羊土社【978-4-7581-2102-6】				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
イラストレイテッド ハーパー・生化学 原書29版（清水孝雄 監修， 翻訳）丸善出版【978-4621087282】				

科目名	基礎生化学	授業コード	120278B302	単位数	2単位
担当者(所属)	松本博明	時間数	30	AL科目	
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	生命体、生命活動を化学的に捉え、生体の構造、機能、生理、代謝の基礎を化学構造や化学反応を通して学ぶ。また、身近な自然の現象や生活に密着した現象を化学の言葉で説明できる能力を身に付ける。 動物看護学教育標準カリキュラム2-1, 1				
到達目標(SBOs)	1)生体の基本成分である蛋白質、脂質、糖の基本構造を化学的に理解し、説明できる。 2)蛋白質の有する高次構造と、その機能発現の関わりを理解し、説明できる。 3)蛋白質、脂質、糖の生体代謝について理解し、これらが生体内でどのような循環、分解、排出を繰り返されるのかを理解し、説明できる。 4)生体エネルギーとは何かを理解し、それはどのようにして生み出されるのかを説明できる。 5)DNA、RNAの基本骨格及び立体構造を化学的に理解し、説明できる。 6)遺伝子の発現制御、蛋白合成、複製について化学的に理解し、説明できる。 7)各ビタミンの基本構造、その作用メカニズム、欠乏症について理解し、説明できる。 8)細胞膜を介した情報伝達について理解を深め、分子による生体情報伝達を理解し、説明できる。 9)COVID19を例としたワクチンの原理や免疫システムの働きについて、生化学の言葉で説明できるようになる。				
実務経験のある教員による教育	in vitroスクリーニングによる血管収縮抑制化合物'(脳挙縮抑制薬)の開発を旭化成医薬系研究部門にて経験した。また、医薬品開発における動物実験も習得し、実際に前臨床の場で実績を残した。この経験を基に、医薬品の薬理作用を生化学的に説明(教育)することができる。				
評価方法	定期的な理解度試験(20%)、最終論述試験(80%)				
準備学習・履修上の注意等	高校卒業程度の化学式、反応機構、及び高校生物Iの習得は必要である。 また、各講義日の前に前回講義内容の復習を行うこと。 講義後は毎回「質問シート」を配布するので、質問や授業に関するコメントを記入し提出すること。 このシートに記載された質問に対しては、次回の講義にて回答(説明)する。				
オフィスアワー	隔週土曜日の講義前後の可能な時間。また、その時間帯以外においても、質問がある場合はメールにて常時受け付ける。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	【生化学序論】 生体を構成する物質の基本構造を学び、生体がどのような物質で成り立っているかをミクロの視点で理解できるようになっている。また、細胞内に存在する微小構造体の役割を理解できる。	講義	松本博明
2	1)2)	【タンパク質及び酵素の構造と機能①】 アミノ酸の分類と構造、及びタンパクの一次構造、高次構造について理解を深め、生体の構造やエネルギー産生への関与を理解できる。	講義	松本博明
3	1)2)	【タンパク質及び酵素の構造と機能②】 酵素反応の作用メカニズム、反応特異性、反応速度論について学び、生体活動の基本である酵素の基質特異性と反応の制御について説明できる。	講義	松本博明
4	3)4)	【生体エネルギー学と糖質及び脂質の代謝①】 生体エネルギーを生み出す物質(糖、脂質)がどのように産生され、どのような過程を経てエネルギーに変換されるのかを理解できるようになる。	講義	松本博明
5	3)4)	【生体エネルギー学と糖質及び脂質の代謝②】 呼吸鎖、解糖系、酸化リン酸化、TCA回路による生体エネルギーの産生を理解し、体内に取り入れた物質がどのような代謝を経てエネルギーが生み出されるのかを説明できる。	講義	松本博明
6	3)4)	【生体エネルギー学と糖質及び脂質の代謝③】 ペントースリン酸回路、脂質の代謝、脂肪酸化によって呼吸鎖がどのように制御されているのかを理解する。	講義	松本博明
7	3)4)	【タンパク質とアミノ酸の代謝】 蛋白質の分解、アミノ酸の生合成、分解について分子論的に説明できる。 また、窒素化合物の代謝を理解し、生体がどのような仕組みで窒素を排出しているのかを説明できる。	講義	松本博明
8	5)	【情報高分子の構造、機能、複製①】 核酸の基本構造であるプリン、ピリミジン、ヌクレオチドの構造を化学的に理解し、遺伝子の基本構造を説明できる。	講義	松本博明
9	5)6)	【情報高分子の構造、機能、複製②】 遺伝子の高次構造、複製、修復について体系的に理解する。 また、タンパク質合成とその制御について説明できる。	講義	松本博明
10	5)6)	【情報高分子の構造、機能、複製③】 遺伝子工学の歴史、セントラルドグマ、更に近年のiPS細胞応用について理解	講義	松本博明

		し、これら技術がどのように社会に活かされているのかを説明できる。		
11	8)	【細胞外及び細胞内情報伝達の生化学】 生体膜の構造と機能について、ミクロの視点にて化学的に理解する。 また、ホルモンや内分泌の作用メカニズムについて説明できる。	講義	松本博明
12	7)	【生体微量栄養素】 各種ビタミンの分類、構造、機能について網羅的に学び、更にビタミン 欠乏と疾患の関係について化学的に説明できる。	講義	松本博明
13	9)	【免疫学、薬理学と生化学との接点】 生化学で学んだことを踏まえ、様々な免疫現象や生理現象がどのような メカニズムの下に起こるのかを説明できる。 また、疾病の生化学的知見を踏まえてどのような薬剤が開発されてきたのか を例示できる。	講義	松本博明
14	9)	【グループ活動】 学習した内容に関する包括的な課題を与え、グループにて議論後、 それを発表する体験をする。	講義	松本博明
15	9)	【リフレクション】 講義全体を通して何を学んだかを振り返り、我々の衣食住を生化学的視点に て説明できるようになる。	講義	松本博明
教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
自前テキスト作成につき、市販教科書は使用しません。				
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】				
使用しません				

科目名	総合学習Ⅱ	授業コード	110110A301	単位数	1単位
担当者(所属)	黒川 昌彦 (薬・薬)・鳥取部直子 (薬・薬)・常住 淳 (薬・薬)・大倉 正道 (薬・薬)・長野貴之 (薬・薬)・吉田 裕樹 (薬・薬)・杉田千泰 (薬・薬)・木村博昭 (薬・薬)・甲斐 久博 (薬・薬)・大塚 功 (薬・薬)・渥美 聡孝 (薬・薬)	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(2年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	薬剤師には、相互の立場を尊重しチーム医療へ参画できる資質、また自己研鑽や人材育成をもって医療の進歩へ貢献できる資質が求められている。総合学習Ⅱは、そのような資質を備えた薬剤師となるために、スモールグループディスカッション (SGD) を通じてコミュニケーション能力と問題解決能力を高めると共に、信頼関係の築き方と教育の基本的な考え方を身につけることを目標とする。SGDでは学生の多くが不得意とする学習項目を取り上げ、効果的な学習方法・評価法をグループで討議し立案する。				
到達目標(SBOs)	1) 自分の考えを明確に伝えることができる。 2) 他者の意見を尊重し協力して問題に取り組むことができる。 3) テーマに沿って討議し結論を導くことができる。 4) 学習の方法と評価の重要性を実感する。 薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応 A(3)信頼関係の構築、A(5)自己研鑽と次世代を担う人材の育成				
実務経験のある教員による教育	科目担当者(常住・吉田・杉田・大塚)は、臨床現場や研究機関での実務経験に基づき、臨床現場で必要な基礎知識の修得を目的とした授業を行う。				
評価方法	グループワークや発表時のディスカッションを通して、学習成果をフィードバックする。授業への取り組み姿勢(欠席・遅刻は減点)(20%)、プロダクト・発表、レポート等(80%)をもとに単位認定を行う。				
準備学習・履修上の注意等	グループでよく話し合い、この授業を自分の学習方法を見直す機会とすること。				
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーと同じである。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)2)3)4)	テーマ：細胞膜電位が変化するプロセス、細胞膜受容体の分類・分布および生理機能 ①模型を使って、静止膜電位、活動電位、再分極、過分極のプロセスをシュミレートする。刺激を受けた後に細胞膜電位が変化するプロセスにつきグループで討論する。	SGD	鳥取部・常住・長野
2	1)2)3)4)	②教員が、細胞膜電位、細胞外カリウムイオン濃度、閾値、チャネル、イオンポンプ等に関する問題を出題する。その答えをグループで話し合い、発表する(希望者・加対象)。	SGD・発表	鳥取部・常住・長野
3	1)2)3)4)	③細胞膜受容体を分類し、それぞれの受容体の生体内での分布をまとめる。受容体刺激によって始まる細胞内情報伝達と細胞応答につきグループで討論する。	SGD	鳥取部・常住・長野
4	1)2)3)4)	④教員が、細胞膜受容体、アゴニスト、アンタゴニスト、セカンドメッセンジャーと細胞応答等に関する問題を出題する。その答えをグループで話し合い、発表する(希望者・加対象)。	SGD・発表	鳥取部・常住・長野
5	1)2)3)4)	テーマ：中和滴定および酸化還元滴定を必要とする薬物の純度試験 ①演習問題を使用して、中和滴定を必要とする薬物の純度試験の効果的な復習方法を検討し、次回の総合学習の計画を立てる。	SGD	木村・甲斐・大塚・渥美
6	1)2)3)4)	②計画に従い、今回のグループ学習で中和滴定の解き方を理解する。	SGD	木村・甲斐・大塚・渥美
7	1)2)3)4)	③を検討し、次回の総合学習の計画を立てる。	SGD	木村・甲斐・大塚・渥美
8	1)2)3)4)	④計画に従い、今回のグループ学習で酸化還元滴定の解き方を理解する。	SGD	木村・甲斐・大塚・渥美
9	1)2)3)4)	テーマ：生体内高分子・代謝・遺伝子 ①生体内高分子に関する解説を聞いて、問題を作成し発表する。	SGD・発表	黒川・吉田・杉田・大倉
10	1)2)3)4)	②生体内高分子の代謝に関する解説を聞いて、問題を作成し発表する。	SGD・発表	黒川・吉田・杉田・大倉
11	1)2)3)4)	③酵素、酵素反応、補酵素等に関する解説を聞いて、問題を作成し発表する。	SGD・発表	黒川・吉田・杉田・大倉
12	1)2)3)4)	④遺伝子や遺伝子発現に関する解説を聞いて、問題を作成し発表する。	SGD・発表	黒川・吉田・杉田・大倉

教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】
使用しない。

科目名	総合学習Ⅲ		授業コード	110111A301	単位数	1単位
担当者(所属)	横山 祥子(薬・薬)、高村 徳人(薬・薬)、鈴木 彰人(薬・薬)、徳永 仁(薬・薬)、堤 敏彦(薬・薬)、園田 純一郎(薬・薬)、緒方 賢次(薬・薬)、日高 宗明(薬・薬)、興梠靖幸(薬・薬)、戸井田達典(薬・薬)、橋本亜衣子(薬・薬)		時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(3年)		必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期		授業形態	演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	総合学習Ⅲでは、人とその集団の健康維持・向上に貢献でき、社会において薬剤師が果たす責務を理解でき、実務実習を円滑にし、薬学生のモチベーションを高めるために、臨床能力に長けた薬の専門家として身につけるべき、基本および発展的な知識、技能、態度(生命倫理を含む)とは何かをスモールグループディスカッション(SGD)を通し見出す。その内容をプレゼンテーションする。 患者を中心としたチーム医療へ参画するためのコミュニケーション能力や、医療の進歩へ貢献するための情報収集能力を修得する。					
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 情報や資料を収集することができる。 2) 得た情報や資料をもとに話し合い必要なものを抽出しまとめることができる。 3) パワーポイントやワードで図表を作成できる。 4) 図表を使ってわかりやすく発表できる。 5) 必要な生命倫理の重要性を理解し、説明できる。 <p>以上を通し、臨床能力で重要なことは何かを考える力を身につけることができる。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラム対応：B-(1)(2)(3)(4)、F-(1)-③臨床実習の基礎1-5</p>					
実務経験のある教員による教育	薬剤師の実務経験を有する教員が必ず含まれた人員構成で担当する。薬剤師の現状の分析および発展させる方策などを考えさせることを目的としたSGDを行う。					
評価方法	プレゼンテーション(80%)、観察記録(20%)として、単位認定を行う。					
準備学習・履修上の注意等	1回の授業につき2時間程度を目安に、医薬品情報の収集方法について復習し、薬剤師を取り巻く環境について予習も行うこと。遅刻厳禁。SGD時は活発に論議できるように予習してこよう。パソコンを持ってこよう。					
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日 各教員が示しているオフィスアワーに準じる。					
授 業 計 画						
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当		
1	1)	議題1(病院薬局関連)：情報、資料収集	演習	鈴木・日高		
2	1) 2) 3)	小グループでのディスカッションを行いプレゼンテーションを作製する。	SGD	鈴木・日高		
3	4)	結果のプレゼンテーションを行う。	演習	鈴木・日高		
4	1) 5)	議題2(保険薬局関連)：情報、資料収集	演習	徳永・園田・戸井田・橋本		
5	1) 2) 3) 5)	小グループでのディスカッションを行いプレゼンテーションを作製する。	SGD	徳永・園田・戸井田・橋本		
6	4)	結果のプレゼンテーションを行う。	演習	徳永・園田・戸井田・橋本		
7	1)	議題3(薬剤学関連)：情報、資料収集	演習	横山・堤		
8	1) 2) 3)	小グループでのディスカッションを行いプレゼンテーションを作製する。	SGD	横山・堤		
9	4)	結果のプレゼンテーションを行う。	演習	横山・堤		
10	1)	議題4(ベッドサイド関連)：情報、資料収集	演習	高村・緒方・興梠		
11	1) 2) 3)	小グループでのディスカッションを行いプレゼンテーションを作製する。	SGD	高村・緒方・興梠		
12	4)	結果のプレゼンテーションを行う。	演習	高村・緒方・興梠		
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】						
使用しない。						
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】						
使用しない。						

科目名	物理学Ⅱ	授業コード	110134A301	単位数	1単位
担当者(所属)	白崎 哲哉(薬・薬)、日高 宗明(薬・薬)	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	薬学は、薬物という物質を対象とする学問として発展してきた。6年制となった現在もその重要性は変わらない。そしてまた、我々の生体自身も物質であり、その物質の特性を理解するためには物理学は不可欠である。物理Ⅱでは、医薬品・化学物質等の物理学的特性を理解するために、そして我々のからだの生理機能、各種医学・薬学診断、放射化学・放射線生物学・放射性医薬品、有機化学などの物理学的側面を理解できるようになるために、原子の基本について理解することを目標とする。				
到達目標(SBOs)	<p>1) 運動の法則について理解し、質量、力、加速度、運動量、力積について説明できる。</p> <p>2) 仕事とエネルギー、エネルギーの変換について説明できる。</p> <p>3) 静電気、電場および直流電流の基本的性質について説明できる。</p> <p>4) 波の基本的性質について説明できる。</p> <p>5) 原子の基本構造、電子の波動性と光の粒子性について説明できる。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：F薬学準備教育ガイドライン 薬学の基礎としての物理の以下の項目に該当する。 C1(1)【原子・分子】【放射線と放射能】、(3)【電気化学】、(4)【反応速度】</p>				
実務経験のある教員による教育	白崎、日高は臨床現場と教育機関での5年以上の実務経験に基づき、薬学専門科目の修得ならびに臨床現場での実務・臨床研究に必要な物理学の修得を目的とした講義を行う。				
評価方法	適切な時期に中間試験を実施し、その結果を元に形成的評価を行う。中間試験終了後に、中間試験の記載内容および全体結果を元にフィードバックを行う。 学習への取り組み姿勢として、SGDの参加状況(周囲の学生と議論しているかどうか)、また講義中の問題解答の発表について加点を行い、それらの評価を10%とする。この10%に加えて、中間試験の結果を45%、期末試験の結果を45%として総合的に評価する。				
準備学習・履修上の注意等	<p>①遅刻、指定時間以外の私語厳禁。</p> <p>②講義中のプリントおよび配布課題は必ず自分の力でやり遂げ、指定日時までに完了させること。理解が不十分である問題および項目は、講義終了後には、他人に説明できるようになるまで復習すること。分からない点があれば、友人や教員に積極的に質問し、理解を深めること。単位認定には、授業以外に21時間の準備学習が必要であるため、1コマにつき2時間を目的に復習すること。また、事前に配布した資料について予習することが望ましい。</p> <p>③SGDでは間違っても構わないので、積極的に自分の意見を述べること。また周りの学生の意見を聞いてその内容を理解するように務めること。</p> <p>④参考書欄に記載している動画・サイトは、物理Ⅱの内容の理解を助けるだけでなく、物理化学や放射化学など専門教育の参考としても有用であるため、理解できていないと感じた場合には、積極的な視聴を薦める。</p>				
オフィスアワー	時間：毎週月および金曜日17:00~18:00 研究室：白崎(M-402)、日高(M-412)				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	物体に働く力、エネルギー	講義	日高
2	1)	運動エネルギー、位置エネルギー	講義・演習・SGD	日高
3	2)	電荷と静電場	講義・SGD	白崎
4	2)	静電気エネルギーと電位差	講義・演習・SGD	白崎
5	3)	電流、抵抗と電流電圧関係	講義・演習・SGD	白崎
6	3)	電気回路	講義・演習・SGD	白崎
7	3)	電池と細胞膜電位	講義・演習・SGD	白崎
8	4)	波の基本的性質、音の基本的性質	講義	日高
9	4)	電磁波・光の基本的性質	講義・演習・SGD	日高
10	5)	原子の基本構造、光の粒子性	講義・SGD	白崎
11	4)	物質波	講義・演習・SGD	白崎
12	5)	電子の波動性と電子軌道	講義・演習・SGD	白崎

教科書（著者名） 出版社名 【ISBN】
物理系薬学Ⅰ（スタンダード薬学シリーズⅡ-2）（日本薬学会編） 東京化学同人 【9784807917020】
参考書（著者名） 出版社名 【ISBN】
講義資料もしくは教科書を読んでも理解できない場合には、以下の動画の関連する部分を視聴することを薦める。 ・映像授業 Try IT（Youtubeで視聴可） ・butsurikyoushi 高校物理解説講義（Youtubeで視聴可） ・NHK高校講座：物理基礎（Eテレ・関連サイトで視聴可）

- ・映像授業 Try IT（Youtubeで視聴可）
- ・butsurikyoushi 高校物理解説講義（Youtubeで視聴可）
- ・NHK高校講座：物理基礎（Eテレ・関連サイトで視聴可）

科目名	物理学Ⅰ	授業コード	110133A301	単位数	1単位
担当者(所属)	田原佳代子(薬・薬)、興梠 靖幸(薬・薬)	時間数	24	AL科目	○
配当学科(学年)	薬学科(1年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習・SGD		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>学問としての「物理」は、自然現象に対しそれがどのようにして起こるのか?という問いから始まっている。自然の一部である生命現象については後回しにして客観的な立場をとり、観察や実験から事実を集め、それらを正しく記述することで、事実と共通の法則が導かれてきた。そして、いくつかの法則に共通する原理に到達し、法則や原理が確立されてきたのが「物理」である。一方、薬学における物理系科目には、「物理化学」と「分析化学」がある。いずれも「化学」という言葉がついているように、「無機化学」や「有機化学」と密接に関わっている。また、薬物の体内での動きについては「薬物動態学」で学ぶが、薬物の動く過程(吸収・分布・代謝・排泄)は物理学の原理に基づいて説明されるため、その理解には物理の知識が不可欠である。</p> <p>本科目「物理学Ⅰ」では、高校で学ぶ物理の中から、特に薬学の物理系科目で重要となるものを取り上げ、論理的な思考ができる薬剤師の基礎を築くため、物理の概念と基本的知識、および原理・法則に関わる計算能力を修得する。</p>				
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 有効桁数を考慮した物理としての四則演算ができる。 2) 物理で使う単位や10の累乗を表す接頭辞の意味を理解し、正しく使うことができる。 3) SI単位、組立単位とは何かを説明でき、単位の変換ができる。 4) 指数関数、対数関数を含む計算ができる。 5) 電磁波の種類と、波長、波数、振動数の関係を説明できる。 6) 振動数と音波、音速に関する計算ができる。 7) 等速直線運動を数式に表すことができる。 8) 等速直線運動に関する計算ができる。 9) 等加速度運動を数式に表すことができる。 10) 等加速度運動に関する計算ができる。 11) 力学的エネルギー保存の法則を理解し、説明できる。 12) 力学的エネルギー保存の法則に関するエネルギーの計算ができる。 <p>アドバンス</p> <ol style="list-style-type: none"> 13) 電流の向きと磁界の関係を説明できる。 <p>薬学準備教育ガイドライン(例示)との対応:(4)薬学の基礎としての物理【①基本概念】、【②運動の法則】、【③エネルギー】、(7)薬学の基礎としての数学【①数値の扱い】</p>				
実務経験のある教員による教育	後半の科目担当者(興梠)は臨床現場での5年以上の実務経験に基づき、医療の現場で薬剤師に求められる論理的思考力の修得を目的とした授業を行う。				
評価方法	1~6回目の講義(田原)の範囲は、課題に対するレポートにより評価する(50%)。 7~12回目の講義(興梠)の範囲は、中間試験の時期に実施する試験により評価する(50%)。				
準備学習・履修上の注意等	<p>【履修上の注意】</p> <p>本科目は、リメディアル科目であるが、高校の物理をすべて学習するものではない。薬学の物理系科目から見て、高校物理の中から、修得しておくべき項目を抜粋している。また、高校で物理を履修していない学生向けに構成している。数式を用いた計算は、物理の法則や原理に基づいたものであり、数式や数値に意味をもつのが物理である。そこが数学と異なる点であるので、そのことを意識して学んで欲しい。</p> <p>【準備学習】</p> <p>大学の授業は、予習と復習を行うことを前提に組み立てられている。事前に配布された資料や問題には必ず目を通し、分からないところを明確にしておくこと。また、調べれば分かることは自ら調べておく能動的な学びを心掛けること。これらの予習をした上で、授業を受け、復習として授業の振り返りと課題やレポートを作成すること。求められる予習・復習の準備学習時間(計27時間程度)の方が、授業時間(計18時間)よりも長いのが大学の学びであるので、心掛けて欲しい。</p>				
オフィスアワー	<p>田原: 毎週火曜 16:00~17:00 SGD中など講義内や講義直後の講義室内で質問することが望ましい。</p> <p>興梠: 月曜~金曜日 15:00~18:00 (4号棟4階 M-424研究室) 講義や実習、会議等で不在のことがあるので、4号棟1階の教員在籍表示を確認してから訪室すること。</p>				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)~4)	前半のイントロダクション、有効数字、接頭辞、単位を考慮した計算	講義・演習・SGD	田原	
2	1)~4)	SI単位、単位の変換①	講義・演習・SGD	田原	
3	1)~4)	単位の変換②	講義・演習・SGD	田原	
4	5) 6)	波①(電磁波の種類と波長、振動数)	講義・演習・SGD	田原	
5	5) 6)	波②(電磁波の種類と波長、振動数)	講義・演習・SGD	田原	
6	1)~6) 13)	前半の復習、電気と磁気(アドバンス)	講義・演習・SGD	田原	

7	7) 8)	後半のイントロダクション、物体の速度と加速度①（速さ・速度・変位）	講義・演習・SGD	興梠
8	9) 10)	物体の速度と加速度②（加速度・等加速度運動）	講義・演習・SGD	興梠
9	9) 10)	物体の速度と加速度③（加速度・等加速度運動）	講義・演習・SGD	興梠
10	7)~10)	物体の運動法則（運動の第一法則・第二法則・第三法則）	講義・演習・SGD	興梠
11	11) 12)	エネルギー①（運動エネルギー・位置エネルギー・力学的エネルギー保存の法則）	講義・演習・SGD	興梠
12	11) 12)	エネルギー②（運動エネルギー・位置エネルギー・力学的エネルギー保存の法則）	講義・演習・SGD	興梠
教科書（著者名）出版社名【ISBN】				
使用しない。 必要に応じて資料を配布する。				
参考書（著者名）出版社名【ISBN】				
漆原晃の物理基礎・物理[力学・熱力学]（漆原 晃/著）中経出版【978-4-04-600138-2】				

科目名	総合臨床実習Ⅰ	授業コード	121282H201	単位数	8単位
担当者(所属)	立石 修康・園田 徹	時間数	360	AL科目	○
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度前期	授業形態	臨床実習		
授業の概要・一般目標(GIO)	大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。				
到達目標(SBOs)	1) 3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。 2) 評価、プランニング、実施、再評価ができる。 3) 医療人としての規律が守れる。 4) 臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。				
実務経験のある教員による教育	当該施設の実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。				
評価方法	臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。				
準備学習・履修上の注意等	フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと				
オフィスアワー	学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。ただし、実習半ばで教員が実習施設に出向き相談を受け付ける(実習訪問指導)。また、必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
2	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
3	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
4	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
5	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
6	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
7	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
8	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
9	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
10	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
11	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
12	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
13	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
14	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員
15	1)~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	実習	学科全教員

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

指定しない。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

指定しない。

科目名	総合臨床実習Ⅱ	授業コード	121283H201	単位数	8単位
担当者(所属)	立石 修康・園田 徹 (保・作)	時間数	360	AL科目	○
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)	必修・選択	必修		
開講学期	2023年度後期	授業形態	臨床実習		
授業の概要・一般目標(GIO)	大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。				
到達目標(SBOs)	1) 3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。 2) 評価、プランニング、実施、再評価ができる。 3) 社会人としての規律が守れる。 4) 臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。				
実務経験のある教員による教育	当該施設の実習指導者は5年以上の経験を持つ作業療法士であり、それぞれの専門領域で総合的な実習指導と支援を行う。また、教員による訪問指導も行う。				
評価方法	臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。				
準備学習・履修上の注意等	フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や対患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと				
オフィスアワー	学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。ただし、実習半ばで教員が実習施設に出向き相談を受け付ける(実習訪問指導)。また、必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
2	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
3	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
4	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
5	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
6	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
7	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
8	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
9	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
10	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
11	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
12	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
13	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
14	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員
15	1) ~4)	学科の実習教育方針のもと、それぞれの領域の実習施設の対象者に応じた実習を行う。	臨床実習	学科全教員

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】

指定しない。

参考書(著者名) 出版社名【ISBN】

指定しない。

科目名	管理運営学	授業コード	120238A201	単位数	1単位
担当者(所属)	立石修康	時間数	15	AL科目	
配当学科(学年)	作業療法学科(4年)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義		
授業の概要・一般目標(GIO)	円滑かつ効果的な作業療法の施行にあたって職場環境の整備は重要な要素となることから、環境整備に必要な人的・物的な管理に加えリスク管理あるいは自己管理などを含めて、管理運営に関する基礎知識を修得する。				
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 組織構成員としての役割を説明できる。 2) 管理・運営の意味することを説明できる。 3) 環境整備について説明できる。 4) リスク管理とその対応について説明できる。 5) 社会人として・医療従事者としての倫理的配慮を説明できる。 6) 自己管理と自己研鑽の必要性を説明できる。 				
実務経験のある教員による教育	作業療法士(1981年免許取得)、特に身体障害領域の作業療法士としての実務経験を有している教員が、作業療法士としての職業倫理や管理運営の考え方について具体的事例を通じて解説する。				
評価方法	学期末に行う単位修得試験によって評価する。				
準備学習・履修上の注意等	1回の授業につき4時間程度の予習復習を行うこと。毎回の授業内容に合わせて、作業療法士としての態度について考え、まとめておくとともに必ず「質問を準備」しておくこと。				
オフィスアワー	授業前後の可能な時間				

授 業 計 画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	科目の概要と目的の説明。 作業療法の役割と職域、組織の成り立ちとマネジメント 組織とそれを構成する構成員の役割について考える。	講義	立石
2	1)2)	作業療法業務のマネジメント 作業療法部門における人的・物的管理について考える。	講義	立石
3	2)3)	作業療法業務のマネジメント 作業療法部門の円滑な運営とそれに必要な環境整備を理解する。	講義	立石
4	4)	医療安全のマネジメント 医療事故と作業療法におけるリスク管理およびその対応について考える。	講義	立石
5	5)	医療サービスのマネジメント 社会人としての礼節と接遇を理解する。	講義	立石
6	5)6)	作業療法をとりまく諸制度 作業療法と診療報酬の関係を理解し、医療従事者としての責任と義務について考える。	講義	立石
7	5)6)	作業療法士の職業倫理 臨床における倫理的諸問題と自己研鑽の必要性について理解する。	講義	立石
8	1)~6)	作業療法臨床実習の理解と管理体制 まとめと臨床対応への基本態度を理解する。	講義	立石

教科書(著者名) 出版社名 【ISBN】

指定しない。

参考書(著者名) 出版社名 【ISBN】

指定しない。

科目名	臨床特論	授業コード	121083B201	単位数	2単位
担当者(所属)	立石 修康	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	作業療法学科(4年次)	必修・選択	選択		
開講学期	2023年度前期	授業形態	講義・演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>1. 長期実習に際して、実習先職員の方々に好感を抱いて頂けるように、押さえておくべき基本的態度やマナーを習得する。また患者様・利用者様に関わる上での基本技術の復習し、実践レベルまで習熟する。</p> <p>2. これまでに学習してきた内容を昇華し、より実務的な内容を知る事と、臨床現場での実践的な考え方を知り、スムーズな実習進行ができるようになる。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1) 評価の実技と判定の方法について理解し、実践できる。</p> <p>2) 治療技法とその注意点について実技を通して学び、実践できる。</p> <p>3) 支援技術とその注意点について実技を通して学び、実践できる。</p> <p>4) 実際の臨床場面のVTRを視聴し、現時点でできること、知識・技術が不足している点を自覚し、実習前準備につなげることができる。</p> <p>5) 実習で赴く病院や介護施設に従事する職員構成について学び、その職種や役割について列挙・説明できる。</p> <p>6) 各職員(職種)の専門性と、対象者との関係性について学び、説明できる。</p> <p>7) 臨床実習指導者の役割を理解し、実習指導を受ける心構えを涵養する。</p> <p>8) 職員に対する接遇を修得し、実践できる。</p> <p>9) 対象者に対する接遇を修得し、実践できる。</p> <p>10) 総合臨床実習の全体像を把握し、実習前準備につなげることができる。</p>				
実務経験のある教員による教育	作業療法士(1981年免許取得)、特に身体障害領域の作業療法士としての実務経験を有している教員が教授する。				
評価方法	各教員の提示する課題レポート80%、確認テスト10%、受講態度10%で評価する。				
準備学習・履修上の注意等	3年次履修の作業療法技能に関する専門科目すべてについて復習しておくこと。また臨床実習を想定して、自身の長・短所を挙げ、短所については対応策を検討すること。これらの事前学習に毎回60分費やすこと。				
オフィスアワー	開講日の12:00~13:00				
授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	臨床実習の概要と心得	講義	立石	
2	1)	評価の実技と結果の判定について	講義・実技	立石	
3	2)	治療技法の実技と注意点について①	講義・実技	立石	
4	2)	治療技法の実技と注意点について②	講義・実技	立石	
5	3)	支援技術の実技と注意点について①	講義・実技	立石	
6	3)	支援技術の実技と注意点について②	講義・実技	立石	
7	4)	VTR学習にて自助点を知る	講義・実技	立石	
8	1)~4)	2~7の復習と確認テスト	講義	立石	
9	5)	施設職員の構成について	講義	立石	
10	6)	対象者と関わる職員の立場について	講義	立石	
11	7)	スーパーバイザーとケースバイザーについて	講義	立石	
12	8)	職員に対する接遇	講義・実技	立石	
13	9)	対象者に対する接遇	講義・実技	立石	
14	10)	臨床実習の全体像を把握する①	講義	立石	
15	10)	臨床実習の全体像を把握する②	講義	立石	
教科書(著者名) 出版社名【ISBN】					
指定しない。					
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】					
指定しない。					

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ

専門教育科目/2単位/T授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版
◆参考テキスト	

講義概要・一般目標

本講座では、社会福祉士と精神保健福祉士いずれの専門職にも共通して求められるソーシャルワークの基盤となる概念や専門性を理解することを目標とします。

したがって、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやそれぞれの役割と意義を学び、専門性を理解していきます。これまでの実践と理論化により獲得してきたソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、ソーシャルワークの歴史的形成過程を学びます。

そのことから、今日求められている「総合的かつ包括的な支援」の全体像を理解し、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能の内容を学び、専門職としてのあり方を考えていきます。

全体を通して、ソーシャルワークの専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。

到達目標

- 1) 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。
- 2) ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。
- 3) ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場5年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

- 第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ
社会福祉士及び介護福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）
精神保健福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）
社会福祉士及び精神保健福祉士に求められるコンピテンシー
- 第2章 ソーシャルワークの概念
ソーシャルワークの定義
ソーシャルワークの構成要素
- 第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方
ソーシャルワークの原理
社会正義・人権尊重・集団的責任・多様性の尊重
ソーシャルワークの概念
当事者主権・尊厳の保持・権利擁護・自立支援・エンパワメント・ノーマライゼーション
ソーシャルインクルージョン・
- 第4章 ソーシャルワークの形成過程
ソーシャルワークの源流と基礎確立期
ソーシャルワークの発展期
ソーシャルワークの展開期と統合化
日本におけるソーシャルワークの形成過程
- 第5章 ソーシャルワークの倫理
専門職倫理の概念
倫理綱領
ソーシャルワーカーの倫理綱領
社会福祉士の倫理綱領
精神保健福祉士の倫理綱領
倫理的ジレンマ

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ

専門教育科目 / 2単位 / T授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版
◆参考テキスト	

講義概要・一般目標

本講座では、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰで学んだことを土台として、社会福祉士の専門性をさらに深める内容を学びます。具体的には、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解し、ソーシャルワーク対象レベル（マイクロ・メゾ・マクロ）への支援の実際と関連性を理解していきます。

そのことから、ジェネラリストの視点で総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容を深めていき、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能や専門職としてのあり方を考えていきます。

全体を通して、ソーシャルワーク専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。

添削課題は、テキストを基本として作成しています。各章に該当するテキスト巻末の索引を利用して、テキストを活用しながら添削課題に取り組み、全体を把握するようにしてください。

到達目標

- 1) 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
- 2) ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
- 3) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。
- 4) 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場5年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲

社会福祉士の職域と役割

多様な組織・機関・団体における専門職

諸外国の動向

第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容

総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点

ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ放火知的な支援の意義と内容

多職種連携及びチームアプローチの意義と内容

地域福祉と包括的支援体制

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員	川崎 順子
■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第6巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版
◆参考テキスト 資料等	<ul style="list-style-type: none">・日本地域福祉学会(編)「新版 地域福祉事典」中央法規 2006・地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討会）地域力強化検討会最終とりまとめ～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ～・「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会（地域共生社会推進検討会）「最終とりまとめ」・「社会福祉六法」中央法規・社会福祉の動向編集委員会「社会福祉の動向 2020」中央法規出版・財務省ホームページ「日本の財政関係資料」・「月刊福祉」全国社会福祉協議会 毎月発行

講義概要・一般目標

地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では包括的支援体制と地域福祉の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。

なお、本科目に関するテキストをはじめ、参考テキスト・資料等により、基本的知識や地域福祉の動向を修得する。

到達目標

- 1) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。
- 2) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。
- 3) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。
- 4) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。
- 5) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。
- 6) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。
- 7) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。
- 8) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。
- 9) 福祉における財源について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者（川崎）は、地域福祉の実践現場（社会福祉協議会）での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題

この章のポイント

地域社会の概念とコミュニティに関する理論を概観し、我が国のコミュニティ政策の展開について理解するとともに、地域社会の変化によって発生する地域生活課題と対応策について学ぶ。

第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

この章のポイント

地域共生社会の考え方を学習し、包括的支援体制及び2020（令和2）年の社会福祉法改正で新たに位置づけられた重層的支援体制の具体的な展開方法について学び、実現に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働

この章のポイント

地域福祉ガバナンスの概念を理解するとともに、地域福祉ガバナンスを進めるための協議の場の必要性および社会福祉士・精神保健福祉士など専門職の役割や果たすべき機能について学ぶ。

第4章 地域福祉の基本的な考え方

この章のポイント

地域福祉の基本的な考え方である「地域福祉の概念と理論」及び「地域福祉の歴史」を一体的に理解するとともに、近年の「地域福祉の動向」における地域福祉の課題と解決を担う「地域福祉の主な推進主体」について学ぶ。また、「地域住民の主体」形成のための方法として「福祉教育」の重要性について理解する。

第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開

この章のポイント

地域共生社会の実現に向け重要な役割を持つ、地域を基盤としたソーシャルワークであるコミュニティソーシャルワークの考え方やそれが必要となった背景を理解する。また、住民の主体形成を支援するソーシャルワークの視点や方法、コミュニティソーシャルワークの具体的な展開過程について学ぶ。

第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制

この章のポイント

災害多発時代ともいわれる近年の状況を踏まえ、災害時における法制度について理解するとともに、災害によって生じる課題に対し、どのような地域福祉や包括的支援を行うかについて学ぶ。

第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用

この章のポイント

福祉計画の基本的視点や福祉計画が果たす機能を戦後の福祉計画の歴史を踏まえて理解するとともに、地域福祉（支援）計画の内容について学ぶ。また、福祉計画の策定過程と方法・技術、ニーズ把握と評価の方法・技術について、ソーシャルワークの視点に基づいて学ぶ。

第8章 福祉行財政システム

この章のポイント

国や都道府県、市町村の役割について理解するとともに、地方の分権化の状況と国と地方の関係について学ぶ。また、社会福祉の実施体制と専門職の配置、国家予算及び地方予算における福祉の財源構成について学ぶ。

ソーシャルワークの理論と方法 I

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員	兒崎 友美
■ 使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第12巻 ソーシャルワークの理論と方法」中央法規出版
◆ 参考テキスト	福祉臨床シリーズ編集委員会編「新・社会福祉士シリーズ8 ソーシャルワークの理論と方法」弘文堂

講義概要・一般目標

本講座では、「相談援助の基盤と専門職」で学んだ内容について基礎的な項目を再度復習すると共に、実践に近づくことを目的に事例を中心として授業を展開していく。

そこで、本講座受講生は、能動的に事例に取り組み、即ち自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。

課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の再点検と事例を下にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示していきます。

さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深めて下さい。

到達目標

- 1) 本講座では、相談援助の基礎的なことを再度確認することで、ソーシャルワーカーにとって「相談援助」の展開過程を説明できる
- 2) 他の専門職が行う「相談」と何がどう違うのかを理解し、その特徴についても合わせて説明できる

実務経験のある教員による教育

科目担当（兒崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践に必要な相談援助の理論と方法についての知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワークとは

この章ポイント

本章では、「ソーシャルワークで用いられる理論と概要」について学ぶことを目的としている。ソーシャルワーカーが強みとする「人」「環境」「人と環境の交互作用」の3者に視点を置く根拠や、ソーシャルワーカーとしての考え、語り、行動する際のよりどころとなることを理解し、実践に活かせるようにする。

第2章 ソーシャルワークの過程 —ケース発見とエンゲージメント（インテーク）—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの展開、特に最初の段階について理解する。その際、困難な状況にある人が援助を受けることを決断するプロセスとソーシャルワーカーに出会うまでの経路について学ぶ。次に、ソーシャルワーカーがクライアントと出会って初めに行うエンゲージメント（インテーク）について学ぶ。援助が必要な人の中には、様々な事情で援助を求めない人がいるため、そのような人たちへのかかわり方についても学ぶ。

第3章 ソーシャルワークの過程 —アセスメント—

この章ポイント

本章では、アセスメントの意義と方法、留意点を理解することを目的としている。このアセスメントにおいては、第1章で学んだ理論とモデルがアセスメントを支えていること、そして実際の技法に活かされていることを意識して欲しい。

第4章 ソーシャルワークの過程 —プランニング—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの原理と理論・モデルに基づいて、目的、目標、計画内容を設定する方法を学ぶことが目的である。プランニングは、連携や協働の要ともなるものなので留意点についても注意して欲しい。

第5章 ソーシャルワークの過程 —支援の実施とモニタリング—

この章ポイント

本章では、計画を実施するとともに、計画が適切に実施されているか、それによって目標達成に向かって進んでいるかなど、プロセスを確認するためのモニタリングの手続きと留意点について学ぶ。併せて、効果測定の目的と意義についても学ぶ。

第6章 ソーシャルワークの過程 —支援の終結と結果評価、アフターケア—

この章ポイント

本章では、支援の終結を迎えるにあたり行うことを学ぶ。また、支援の全体をふりかえって適切な実践ができたか、実践の効果があつたかなど、評価を行う重要性についても学ぶ。したがって、支援の終結、結果評価、アフターケアの考え方や方法を学ぶことが目的である。

第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術

この章ポイント

本章では、ソーシャルワーク援助過程における、アウトリーチについて理解を深めることを目的とする。アウトリーチ手法は今後ますます必要とされることが予測され、特に地域包括支援センターの社会福祉士にとって重要な手法でもある。

ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ

専門教育科目/2単位/T授業

担当教員	児崎 友美
■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集） 「最新・社会福祉士養成講座第12巻 ソーシャルワークの理論と方法」中央法規出版
◆参考テキスト	福祉臨床シリーズ編集委員会編「新・社会福祉士シリーズ8 ソーシャルワークの理論と方法」弘文堂

講義概要・一般目標

本講座では、「相談援助の基盤と専門職」で学んだ内容について基礎的な項目を再度復習すると共に、実践に近づくことを目的に事例を中心として授業を展開していく。

そこで、本講座受講生は、能動的に事例に取り組み、即ち自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。

課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の再点検と事例を下にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示していきます。

さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深めて下さい。

到達目標

- 1) 本講座では、相談援助の基礎的なことを再度確認することで、ソーシャルワーカーにとって「相談援助」の展開過程を説明できる。
- 2) 他の専門職が行う「相談」と何がどう違うのかを理解し、その特徴についても合わせて説明できる。
- 3) ソーシャルワーク実践に必要なモデルやアプローチ、面接、記録などについて説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当（児崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践に必要な相談援助の理論と方法についての知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの「実践モデルとアプローチ」を学ぶことが目的である。まずは、実践モデルやアプローチの意味を理解したうえで、治療モデル、ストレングスモデル、生活モデルの基本的な3つのモデルの特徴を学ぶ。そして、心理社会、機能、問題解決、課題中心、行動変容、認知、危機介入、エンパワメント、ナラティブ、解決志向といったアプローチが誕生した背景やそれぞれの特徴を知識として定着させる。そのためには実践（現場）でこれらの視点や視座、モデルやアプローチを活用できることを意識して取り組む。

第8章 ソーシャルワークの面接

この章ポイント

ソーシャルワーク面接は、ソーシャルワークの全過程において「基本」となる。よってソーシャルワーク面接の意義や目的を理解し、面接の形態や手段、面接が行われる場所の多様性や構造、面接を実施する際の基本的な留意点について学ぶことを目的とする。また、非言語的・言語的双方の側面から、面接の基本的技法について把握し、知識として定着させることを期待する。

第9章 ソーシャルワークの記録

この章ポイント

本章では、ソーシャルワーク記録の意義と目的について学ぶ。また、記録の目的に合わせた「求められる内容」と「好ましくない内容」を把握し、記録の種類やフォーマットなどを活用しながらソーシャルワーカーとして求められる記録とは何かを学んでいく。

第10章 ケアマネジメント（ケースマネジメント）

この章ポイント

本章では、ケアマネジメント（ケースマネジメント）の歴史を整理する。そして、ケアマネジメントの意義や方法、ソーシャルワーカーが習得すべき手法の一つとしてのケアマネジメント（介護保険制度のではない）の本来の意義やモデル、プロセスについて学ぶ。

第11章 グループを活用した支援

この章ポイント

本章では、グループワークについての意義や目的を学ぶとともに、ジェネラリスト実践の視点からいくつかのタイプを学ぶ。そして、グループワーク展開のプロセスやセルフヘルプグループについて事例等に落とし込みながら理解して欲しい。

第12章 コミュニティワーク

この章ポイント

本章では、住民が主体となって地域の問題を解決する力を高める意義と、その方法としてのコミュニティワークを学ぶ。具体的には、実践を支える理論や歴史的流れを理解し、コミュニティワークの展開として、地域アセスメントと計画策定、地域組織化、地域開発、そして評価と実施計画の見直しについて学ぶ。

第13章 ソーシャルアドミニストレーション

この章ポイント

本章では、間接的支援の実践方法としてのソーシャルアドミニストレーションの概念と意義について学ぶ。その上で組織介入・組織改善の実践モデル、組織を運営するための財源の種類や財源確保の方法について学ぶ。

第14章 ソーシャルアクション

この章ポイント

本章では、定義や特徴、展開過程を学ぶ。また、ソーシャルワークにおけるソーシャルアクションの意義を理解していく。そして、コミュニティ・オーガナイズの考え方や技術、展開過程についても学ぶ。

第15章 スーパービジョンとコンサルテーション

この章ポイント

本章では、スーパービジョンとコンサルテーションの意義や目的、方法について学ぶ。ソーシャルワーカーの仕事は、資格を取得したらすぐにできるものではない。様々な状況に対応できるように学び続ける必要があり、専門性を向上させ、よりよいサービスを提供できるようにする技術を学んで欲しい。

低所得者に対する支援と生活保護制度

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員	日田 剛
■使用テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会(編) 『新・社会福祉士養成講座第16巻 低所得者に対する支援と生活保護制度 第5版』 中央法規出版 2019
◆参考テキスト	

講義概要・一般目標

公的扶助は貧困から救済するための最後のセーフティネットとして、国民の生活を保障する制度として機能することが求められている。そのため、公的扶助は人の生存権に深く関わるものであり、その制度の内容や運用が生死を分けるといっても過言ではない。

この科目は、現代社会における低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際を知り、相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に関わる他の法制度について理解することを目的に、生活保護法を中心に低所得対策の理念や意義、その内容を学ぶとともに、生活保護制度の運用にたずさわるソーシャルワーカーの役割について考える。

到達目標

- 1) 公的扶助制度の歴史、公的扶助の理念と意義について理解する
- 2) 生活保護制度と関連制度の仕組み、生活保護の実施と関係専門職の役割を理解する
- 3) 低所得者の動向と課題、低所得者の支援に関する社会保障制度について理解する

実務経験のある教員による教育

実務経験（社会福祉士等 10 年）のある担当教員（日田）による実践に即した指導をおこなう。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 公的扶助の概念

この章のポイント

第1節では、各国に共通する公的扶助制度の基本理念や考え方、その仕組みや内容等を学習することで、公的扶助の概念とその範囲について理解する。また、社会保障制度の中心となる、救貧制度としての公的扶助制度と防貧制度としての社会保険制度を対比することで、公的扶助の基本的性格とその特質についての理解を深める。第2節では、公的扶助の意義と役割・機能について、セーフティネット機能・ナショナル・ミニマム機能を中心として学習する。

第2章 貧困・低所得者問題と社会的排除

この章のポイント

第1節では、公的扶助制度が対象とする貧困・低所得について、生活や社会階層の観点から概念整理を行う。第2節では、貧困の定義と社会的排除について、国内外の研究者による実態調査や理論を中心に学習する。第3節では、現代の貧困・低所得者問題の特徴について理解する。

第3章 公的扶助制度の歴史

この章のポイント

第1節では、社会保障や社会福祉制度の成立と展開が典型的に現れている欧米の歴史を通し、国家が貧困・低所得者問題にどのように対応してきたのかについて学習する。第2節では、欧米との対比において、日本における公的扶助がどのような経緯をたどり、現行の公的扶助制度に至っているのかを理解する。第3節では、日本の貧困・低所得者対策の動向について理解する。

第4章 生活保護制度の仕組み

この章のポイント

第1節、第2節では、生活保護法の目的および基本的な考え方となる4つの原理と、保護を具体的に実施する際の4つの原則について学習する。第3節では生活保護の8種類の扶助の内容等、第4節では生活保護法に規定する5つの保護施設、第5節では被保護者の権利と義務について、また第6節では、不正・不適正受給対策について学習する。第7節では、被保護者の救済制度としての不服申立て制度および訴訟について学習する。第8節では、生活保護制度の財源・予算について学習する。

第5章 最低生活保障水準と生活保護水準

この章のポイント

第1節では、生活保護制度で設定される最低生活保障水準がどのような考え方に基づいているのかについて学習する。第2節では、生活保護基準の中心となる生活扶助基準の算定が、どのような変遷を経て、現行の水準均衡方式となったのかについて理解する。第3節および第4節では、生活保護基準額の実際を知り、その算定方法を学習する。

第6章 生活保護の動向

この章のポイント

第1節では被保護人員および被保護世帯数の動向、第2節では保護の開始・廃止の世帯数や人員およびその原因、第3節では医療扶助、介護扶助の動向について、統計資料をもとに年齢階級、世帯人員別等さまざまな視点から学習し、被保護者（世帯）の特徴を理解する。

第7章 低所得者対策の概要

この章のポイント

第1節では、生活困窮者自立支援法、第2節では生活福祉資金貸付制度、第3節では社会手当制度についてその沿革および制度の基本的内容を学習する。第4節では、近年、取り上げられることが多いホームレスの自立支援対策について、法制化までのプロセスとその内容、その後の展開について学習する。第5節では、公営住宅制度や民事法律扶助制度等、その他の低所得者対策について学習する。

第8章 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体

この章のポイント

第1節では、福祉事務所の沿革を通して、国・都道府県・市町村の役割や生活保護を中心とする実施機関としての福祉事務所の位置づけを学習する。第2節では、現行の福祉事務所の組織体制とその役割について理解する。第3節では、福祉事務所で生活保護の決定や実施にかかわる社会福祉主事の役割について理解する。

第9章 貧困・低所得者に対する相談援助活動

この章のポイント

第1節では、生活保護における相談援助活動の位置づけや枠組み、生活保護決定実施プロセスについての一連の流れを理解する。第2節では、低所得対策における相談援助活動について、生活福祉資金貸付制度、ホームレス支援策を活用した事例をもとに、その問題や課題に対し、ソーシャルワーカーがどのような働きかけをしているのかに着目し、理解を深める。第3節では、相談援助活動を展開するにあたり、どのような関連専門職・専門機関と連携・協働する必要があるのか学習する。

第10章 生活保護における自立支援

この章のポイント

第1節では、生活保護法の目的の1つである自立について、その概念整理を行う。第2節では、自立支援プログラムの導入がこれまでの対人援助活動のなかにもどのように位置づけられるのかについて学習する。第3節では、自立支援プログラムの策定方法について学習する。

高齢者福祉

専門教育科目/2単位/T授業

担当教員 児崎 友美

■使用テキスト	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』中央法規出版 2021
◆参考テキスト	・福祉臨床シリーズ編集委員会編 「新・社会福祉士シリーズ 13 高齢者福祉」弘文堂 ・大和三重他編著「新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 10 高齢者福祉」ミネルヴァ書房

講義概要・一般目標

本科目を理解するには、次の4つの柱を体系的に理解することが必要である。一つは、高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解することである。

二つ目は、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解することである。

三つ目は、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解することである。中心となるのは介護保険制度であるが、高齢者・高齢社会に関連する制度・政策を学び、環境となるこれらの諸制度が高齢者とその家族に与える影響とは何かを学ぶ。

四つ目は、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解することである。

到達目標

- 1) 学生は、高齢者の心身の特性と彼らを取り巻く社会的状況について理解し、説明することができる。
- 2) 学生は、高齢者に関する明治以降近代の法体系の発展と現行制度を理解し体系化することができる。
- 3) 学生は、高齢者に関する介護保険を含む連諸施策を理解し、サービスを利用しようとする人に説明することができる。
- 4) 高齢者を援助する社会福祉援助技術を習得し、実際に援助することができる。

実務経験のある教員による教育

科目担当（児崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士の実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、「高齢者福祉」にかかわる知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 高齢者と少子高齢社会

この章のポイント

高齢者とは、どのような存在で、どのような特性を持っているのかといったマイクロレベルの視点から、高齢社会における社会の特性というマクロレベルの視点で高齢者に関する基本的な学習を進めていく。具体的には、高齢者をめぐる定義の変遷を追いながら時代や社会によってその捉え方を学ぶ。また、社会的、身体的、精神的な3つの側面から高齢者を総合的に理解する。

第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境

この章のポイント

高齢者の生活実態について、最新かつ正確な知見を得られるよう高齢者の生活の諸側面や高齢者を取り巻く社会環境に関する知見を概観する。そして、高齢者の生活実態の多様性を学び、高齢者を含めた家族介護者支援の必要性とソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 高齢者福祉の歴史と理念

この章のポイント

高齢者の人生や生活を支える社会の仕組みの起源を知り、それらの今日的意義や後世への影響を検証する。高齢者保健福祉の制度を時系列的に整理し、今後、さらに進展する少子高齢社会に求められる制度を考える際の手がかりとする。さらに、これらの学びからソーシャルワーカーにとって不可欠な高齢者とその家族を支援する際の礎となる理念を確認する。

第4章 介護保険制度

この章のポイント

本章では、介護保険制度の仕組み、要介護認定の手順を知り、実際の支援で要となる地域包括支援センターの業務を学ぶ。支援が必要な高齢者の状況によって、どのようなサービスを活用できるかを知るために介護保険サービスの体系を学ぶ。そして、制度を知り、活用することによって利用者の権利を擁護できるソーシャルワーカーを目指す。

第5章 高齢者に対する関連諸制度

この章のポイント

本章では、高齢者を支援する法体系を理解する。老人福祉法にはじまり、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法、高齢者住まい法など多くの法体系の存在を学ぶ。さらに、これらの目的と意義について理解し、総合的な高齢者支援の体系を理解することで、社会保険と福祉の差異について認識することを目指す。

第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

この章のポイント

本章では、国、都道府県、市町村(保険者)等の役割、介護保険制度における指定サービス事業者、地域包括支援センター、国民健康保険団体連合会等の役割、高齢者を支援する福祉・医療・保健専門職の役割を学び、家族やボランティアなど高齢者を支援する身近な人々の現状を理解する。

第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際

この章のポイント

本章では、高齢者のアセスメントとコミュニケーションの要点を確認し、個人・家族・グループ・地域へのソーシャルワークの方法を学ぶ。そして、多職種・多機関連携とチームアプローチ、認知症ケア、終末期ケア、地域ケア会議と地域包括ケアシステムの構築において求められる留意点についても確認する。さらに、高齢者に関する事例を通して、高齢者と家族等に対する支援の実際を学ぶ。

認知症の理解

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員	稲田 弘子
■使用テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会（編） 「最新・介護福祉士養成講座第13巻 認知症の理解 第2版」中央法規出版 2022
◆参考テキスト	日本認知症ケア学会編「改訂・認知症ケアの基礎第4版」株式会社ワールドプランニング

講義概要・一般目標

認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響や認知症の人の心理状態、認知症における中核症状と周辺症状等について理解し、個々に合ったケアが提供できるための知識、さらに地域で生活している認知症の人とその家族を支援するための体制のあり方やその具体的な取り組み方法、多職種連携等について理解する。

認知症ケアの目指すところは、「認知症の人やその家族が笑顔で楽しくその人らしく生きられる」ことです。認知症のある人が、尊厳を持ち人生を継続していくためには、支援にあたる人たちの認知症の病気の理解や日常生活への影響の理解、それらを緩和するための介護のあり方について理解することが重要となる。

到達目標

- 1) 認知症の基本的な知識について説明できる。
- 2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。
- 3) 認知症ケアの理念と視点について説明できる。
- 4) 認知症ケアの実際について説明できる。
- 5) 認知症の人を介護している家族の心理や地域生活支援について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院（在宅を含む）、施設（在宅を含む）】が5年以上ある。その経験に基づき、必要な知識・技術の修得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 認知症の基礎的理解

この章のポイント

近年、認知症をめぐる医学的研究は急速に発展しています。そうした最近の知見を含め、ケアするにあたって、おさえておきたい医学的知識について学びます。また、認知症の人は、日々の生活においてどのようなことを体験し、それをどのように感じているのでしょうか。「認知症になったら何もわからなくなる」ではありません。認知症の介護は、まずは認知症の人の心理・体験を知ることから始まります。認知症本人がどのように感じているのか、その思いを学びます。

第2章 認知症の症状・診断・治療・予防

この章のポイント

認知症の特性を理解するためには、中核症状とBPSDの関係について理解しておかなければなりません。認知症の人の行動には「理由」があります。「問題行動」としてとらえるのではなく、なぜそのような行動をするのか、どのような心理状態にあるのかなど、その理由を探るための基礎となる知識を学びます。

第3章 認知症ケアの歴史と理念

この章のポイント

認知症のケアは大きく変わろうとしています。本章ではこれまでの認知症ケアの歴史を振り返り、これからどのような理念をもってケアを創造していけばよいのかを考えます。また、認知症の本人からの視点やおもいを理解したうえで支援内容を考えるための基本を学びます。

第4章 認知症ケアの実際

この章のポイント

認知症は生活のさまざまな場面に影響を与えます。その影響を理解し、認知症の人が、生活を続けるためにどのように支援すればいいのか、具体的な支援方法を学びます。また、認知症のステージに応じた介護のあり方について、暮らす場による違いを含めながら、介護するときどのようにケアしていけばいいのか等、かわり方を学びます。

第5章 介護者支援

この章のポイント

認知症の人を介護している家族や介護福祉職の人の支援のあり方について学びます。

第6章 認知症の人の地域生活支援

この章のポイント

認知症の人が「その人らしく暮らす」ためには、さまざまな地域資源を活かしていく視点が重要となります。地域におけるサポート体制、多職種、多資源協働のチームアプローチの具体的な内容を通して「どのように支援すれば認知症の人を地域で支えていけるのか」を学びます。

発達と老化の理解

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員	稲田 弘子
■使用テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会 編集 『最新 介護福祉士養成講座 1 2 発達と老化の理解 第 2 版』中央法規出版 2022
◆参考テキスト	

講義概要・一般目標

「発達と老化の理解」では、人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響について理解し、生活を支援するために必要な基礎的な知識を修得する。

人間の成長と発達の基礎的な理解のために、誕生から死に至るまでの心身の発達や成長、生理的变化を理解したうえで、老化にともなう心身の変化やそれが日常生活に及ぼす影響、家庭・地域での役割の変化や、経済的不安、いろいろな喪失体験など老年期の発達課題について理解する。

到達目標

- 1) 人間の発達と成長についての基礎的な知識を説明できる。
- 2) 各発達段階の特徴と課題について説明できる。
- 3) 老化期の特徴と発達課題について説明できる。
- 4) 老化による心身の変化と日常生活での影響について説明できる。
- 5) 高齢者に多い疾病・症状と生活上の留意点について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院（在宅を含む）、施設（在宅を含む）】が5年以上ある。その経験に基づき、必要な知識・技術の修得を目的とした指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人間の成長と発達の基礎的知識

この章のポイント

この章では、人間の成長・発達の考え方、成長・発達の原則や影響している要因について基礎的な知識を学ぶ。

第2章 人間の発達段階と発達課題

この章のポイント

この章では、ピアジェやエリクソン、ハヴェィガーストの理論や、ライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴と、発達課題及び各発達段階にみられる特徴的な疾病や障害について学びます。

第3章 老年期の特徴と発達課題

この章のポイント

この章では、老化・加齢の用語の定義や老化学説の種類とその内容を学びます。また、老年期の発達課題や日本が抱える超高齢社会の課題について学びます。

第4章 老化にともなうこころとからだの変化と生活

この章のポイント

この章では、老化に伴う、身体的・心理的・社会的な変化とそれらの変化が日常生活にどのように影響を及ぼしているのかについて学びます。

第5章 高齢者と健康

この章のポイント

この章では、高齢者に多くみられる疾病・症状の特徴、それによる生活への影響や留意点、健康維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を学びます。

権利擁護と成年後見制度

専門教育科目 / 1 単位 / T 授業

担当教員	日田 剛
■使用テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会(編) 『新・社会福祉士養成講座第19巻 権利擁護と成年後見制度 第4版』中央法規出版 2014
◆参考テキスト	日本社会福祉士会(編) 権利擁護と成年後見実践—社会福祉士のための成年後見入門 民事法研究会 2009 田中 亮一(著) Q&A「成年後見」実務ハンドブック【改訂版】 セルバ出版 2009 権利擁護研究会(編) ソーシャルワークと権利擁護“契約”時代の利用者支援を考える 中央法規出版 2001

講義概要・一般目標

現代の市民社会で生活している者は、対等・平等であることが原則であるから、自分での意見はお互いに主張し合って、調和点を見つけながら、社会生活を営むことができる。

近年、社会福祉の分野でも社会福祉基礎構造改革から社会福祉法の改正に伴い、社会福祉のサービス利用のシステムが「措置制度」から「契約」に転換し、利用者とサービス提供者との「契約」に基づき諸々の福祉サービスが提供されている。

しかし、社会福祉士が相談援助等で接する人の中には、高齢のために身体的にも精神的にも衰えている人、障がい有るために自分の意思を十分に表明できない人などが存在する。このような人達は、判断能力の点で援助を必要としている要援護者であることが多い。だからこそ、「援助」の名の下に人権侵害をしないように、相手の立場に立って考えられることのできる鋭い人権感覚が求められる。

そこで、この科目では、相談援助を展開する上で、想定される法律問題を「福祉サービスの利用と契約」「消費者被害と消費者保護」「自己破産と保証」「行政処分と不服申立」など実際の相談でよくある問題に対応ができるために、基礎的に日本国憲法や行政法、民法などの法制度を学習し、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解することで、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないのかを明らかにし、社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し鋭い人権感覚を涵養する。

到達目標

- 1) 本講座では、権利侵害を受けやすい市民を守る上での必要な知識、制度を説明できる
- 2) 特に成年後見制度やそれに関連する諸制度の申立てから実践までの一連の課程で、ソーシャルワーカーが関わる必要性について理解を深め成年後見人としての業務が遂行できる基礎を理解し、合わせて説明できるようになる。

実務経験のある教員による教育

介護老人保健施設、ケアホーム等での社会福祉士としての実務経験及び宮崎県社会福祉士会の社会福祉士として、「ばあとなあ宮崎」の成年後見人養成研修を修了し、成年後見人等の実務経験(10年)を持つ担当教員(日田)による実践に即した指導をおこなう。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 相談援助の活動と法

この章のポイント

権利擁護に向けた相談援助の活動において想定される法律問題を第1節で学習することによって、法制度が相談援助の活動と密接に関連していることを理解する。第2節以降では、社会福祉士として権利擁護の役割を担うための法制度はどのようなものがあるのか理解する。

第2章 成年後見制度

この章のポイント

社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味を成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって理解する。

また、最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を理解する。

第3章 日常生活自立支援事業

この章のポイント

日常生活自立支援事業が成年後見制度と車の両輪と位置づけられるのは何故なのかを第1節で学習し、成年後見制度との相違点や特徴を第2節でさらに学習することによって、この両者は相互に補完し合う形で機能を果たしていることを理解する。

第4章 成年後見制度利用支援事業

この章のポイント

現代の市民生活においては、私的自治の原則により、後見申立て費用や報酬は自分自身が負担すべきである。

しかし、経済的理由で費用や報酬の支払いができない人は、成年後見制度を利用できないといった事態に陥るため、市長村が行う成年後見制度の利用を支援する事業を創設した。

第1節では成年後見制度利用支援事業の変遷を学習し、第2節で福祉行政が経済的理由で費用や報酬の支払いができない人に対してどのように支援していくかを学習することによってより成年後見制度の理解を深める。

第5章 権利擁護にかかわる組織・団体

この章のポイント

第1節で成年後見制度の根幹である家庭裁判所の役割を学習し、制度を支える法務局、市長村、社会福祉協議会、児童相談所の役割を第2節以降で学習する。成年後見制度が多く組織や団体によって支えられ、各々が固有のサービスを提供しているため、社会福祉士はその役割や業務内容をいかに理解し、いつでも相談できるような体制を日頃から構築しておくことが重要であることを理解する。

第6章 権利擁護にかかわる専門職の役割

この章のポイント

後見を担う親族がいない場合や親族がいても困難な場合は第三者である専門家に後見を依頼することになる。その際、本人の状況によっては財産管理に優れた法律家に依頼したり、身上監護を得意とする社会福祉士に依頼したりすることになる。この章では、成年後見制度を含めた権利擁護制度にかかわる専門職の役割を学習するが、いずれの専門職においても鋭い人権感覚が必要であることを理解する。

第7章 成年後見活動の実際

この章のポイント

認知症を有する高齢者の虐待事例や重度知的障がい者の虐待事例から成年後見活動の実際を第1節から3節で学習する。さらに第4節で市長村長申立ての事例を学習することによって成年後見人等の役割と市長村の役割をより明確に理解する。

第8章 権利擁護活動の実際

この章のポイント

この章では、ソーシャルワーク実践は、児童から高齢者、障がい者、ホームレスの人などを対象にした幅の広い支援が必要であり、そのためには医療や福祉の知識だけでなく、総合的な知識が必要なことを、児童虐待、高齢者虐待、アルコール依存者、非行少年、ホームレス、多問題重複ケースの事例を通して学習する。

さらに、社会福祉士は、支援を必要としている人々の生活と権利を擁護することが、社会福祉士という専門職の価値と原則を具体化するものとしてとらえ、権利擁護制度を理解し、積極的に活用していく力が求められていることを再確認する。